

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

はじめに

令和5年度は、長く猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5月8日をもって感染症法上の「5類」に移行され、社会生活全般に平時の落ち着きが戻った1年でした。

国民の感染症予防に対する意識や日常の生活様式も変化し、医療の面でも新興感染症の発生を念頭に置いた新たな体制整備が進み始めました。

こうした中、令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登半島を震源地とする震度7の大地震が発生し、日本国民に大きな衝撃を与えました。

本会では、被災者支援のために、横浜市薬剤師会が1月10日から2月7日までの間に能登町に出動させたモバイルファーマシーでの支援活動に協力し、会員薬剤師を派遣するとともに、日本薬剤師会の要請に応じて、1.5次避難所に指定された「いしかわ総合スポーツセンター」に薬剤師チームを派遣し、避難生活を送る方々の支援を行いました。

折しも、厚生労働省から「災害薬事コーディネーター」の概念が示され、各都道府県で改定作業が進められていた医療計画への位置づけが議論されていた時期であり、今回の地震災害に直面し、本会としても、県内や近隣地域での大規模災害発生に備え、より実践的かつ広域的な災害対応体制を構築すべく、今後の取組を強化していく必要性を改めて深く認識することとなりました。

そのような状況下、本会は公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、令和5年度の各種事業を推進してまいりました。

具体には、薬学・薬業の進歩発展に寄与する事業として2年ぶりに神奈川県病院薬剤師会と共催した「第20回かながわ薬剤師学術大会」では、薬剤師のDXにかかる特別講演や薬薬連携推進のための合同セミナーを開催しました。

また、近年大きな社会問題化しているオーバードーズなど薬物乱用防止の啓発イベントである「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーンを精力的に行うとともに、「くすりと健康すこやかフェア」の開催やくすりと健康相談薬局「県下一斉相談週間」の実施、健康測定機器の貸出し事業等を通じて、医薬品適正使用の推進、セルフメディケーションの啓発等に取り組みました。

さらに、医療安全に関する分野では、本会が精力的に進めている多重受診・偽造処方箋対策として、リスクマネジャーを通じて昨年度実績を上回る情報提供を行い、再発防止に努めました。

また、地域医療に関わる分野では、会員のみならず多くの一般受講者を集めた「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」を開催するなど、今日の薬剤師を取り巻く新たな課題への対応力を高める取組を進めました。

一方で、本会の2大事業の一つとして取り組んできた「くすりと健康相談薬局」事業については、令和5年度は新規10件、更新39件を認定し、継続とあわせて前年度をやや上回

る 261 薬局となりました。

また、もう一つの「認定薬剤師研修制度」については、新規 6 名、更新 8 名を認定し、通算認定者数は前年度から 4 名増の 55 名となりました。

この他にも、本会自体の強化の取組として、将来の会員増を見据えた「神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバー」事業を実施し、薬学生や若手薬剤師に本会の委員会活動を体験してもらうとともに、本会のホームページを令和 5 年 7 月に全面リニューアルし、利用環境を大幅に改善しました。

あわせて、本会の活動拠点である総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、空調設備を中心とした大規模修繕工事の設計を実施しました。

さらに、具体の事業ではありませんが、「神奈川県保健医療計画」の改定作業にあたり、本会から県行政に対して多くの意見・要望をお伝えし、在宅医療体制の充実等を見据えた医薬品提供体制の確保・医療 DX の推進、災害時医療体制などに関する事項を計画に反映していただきました。

このように、令和 5 年度の活動を通じて、本会は公益社団法人としての使命を果たすことができました。

目 次

頁

会務報告

1 会員数	1
2 各種会議開催状況	1
3 各種委員等就任状況	4
4 会員の表彰	9
5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況	11

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	15
2 児童・生徒等に関する事業	20
3 医薬品適正使用に関する事業	23
4 医療安全に関する事業	29
5 公衆衛生に関する事業	31
6 地域医療に関する事業	34
7 災害時医療救護活動に関する事業	40

II 法人事業

1 法人組織運営に関すること	
(1) 総会、理事会等開催など	42
(2) 組織強化と財務の健全化	43
(3) 会員管理	47

III 共益事業

1 共益事業	
(1) 薬剤師の生涯学習の推進	48
(2) リスクマネジメント等事業	54
(3) 広報事業	55
(4) 会員に向けた各種支援	59

IV 収益事業

1 収益事業	60
--------	----

その他

1 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	61
------------------------	----

参考資料

令和5年度公益社団法人神奈川県薬剤師会事業計画	62
令和5年度事業体系図	64
令和5年度神奈川県薬剤師会各種委員会等委員名簿	66
令和5年度神奈川県薬剤師会組織図	67

会 務 報 告

1 会員数

	第 1 種 会 員	2,257名	(対3/31 56名減)
会員総数 3,860名	第 2 種 会 員	1,361名	(対3/31 12名減)
(対3/31 88名減)	第 3 種 会 員	29名	(対3/31 10名減)
	賛 助 会 員	202名	(対3/31 10名減)
	名 誉 ・ 有 功 会 員	11名	(対3/31 増減なし)

(P14 参照)

2 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

① 通常総会

- ・開 催 日 令和5年6月18日(日)
- ・開催場所 神奈川県総合薬事保健センター1階多目的ホール
- ・代議員総数 68名(定数)
- ・出席者数 出席者 65名 内訳 出 席 58名
委任状 2名
書面表決 5名
- ・報告事項 報告第1号 令和4年度事業報告について
報告第2号 日本薬剤師会第101回臨時総会について
- ・審議事項 議案第1号 令和4年度決算について
議案第2号 代議員選挙管理委員会委員の指名について
議案第3号 役員選挙管理委員会委員の指名について
賛成多数により原案どおり可決された。
議案第4号 理事の選任について
議案第5号 監事の選任について

理事及び監事の候補者数が定数を超えないため、候補者をもって当選者とすることが賛成多数により決議され、選任された。

〔理事名簿：届出順〕

1	長津 雅則	10	橋本 真也	19	大島 崇弘
2	石井 泰彦	11	久保田充明	20	塚本 久美
3	小川 護	12	泉 紀久恵	21	深澤 仁
4	佐藤 克哉	13	小林 弘忠	22	阿部 正隆
5	竹内 尚子	14	平井 和友	23	加藤 真介
6	大岡 元	15	唐澤 淳子	24	森井 広樹
7	福島 仁	16	夏目 善文	25	八鍬 広幸
8	藤本 直樹	17	菅野 君子		
9	後藤 知良	18	伊藤 啓		

〔監事名簿：届出順〕

1	嶋 元	2	種綿 敏雄
---	-----	---	-------

② 臨時総会

- ・開 催 日 令和6年3月3日（日）
- ・開 催 場 所 神奈川県総合薬事保健センター1階多目的ホール
- ・代議員総数 65 名（定数）
- ・出席者数 出席者 64 名 内訳 出 席 56 名
委任状 1 名
書面表決 7 名
- ・審議事項 議案第1号 令和6年度事業計画について
議案第2号 令和6年度収支予算について
議案第3号 令和6年度借入金最高限度額について
賛成多数により原案どおり可決された。
議案第4号 代議員選挙管理委員会委員の指名について
提案した議案書中、補欠の委員に代議員及び補欠の代議員2名の氏名が記載されていたため、当該候補者の氏名を削除の上、議案を提出し直した。
賛成多数により可決された。
- ・その他 役員の選任について
現在検討している会長候補者選挙、副会長3名以内、理事選挙の立候補制についての説明があり、定款変更、関係規則などの改正について、令和6年度通常総会に議案を提出するとの説明がされた。

（2）理事会 7回（5/18、6/18、7/6、9/21、11/2、12/21、1/25）

（3）常務理事会 24回（4/6、4/20、5/11、5/25、6/1、6/15、7/6、7/20、8/3、8/24、
9/7、9/21、10/5、10/18、11/2、11/16、12/7、12/21、1/11
1/25、2/8、2/22、3/7、3/21）

（4）監査会 2回（5/12、11/14）

（5）地域・職域薬剤師会会長協議会 4回

開催日	講演内容等
第1回（4/27）	講演：第8次医療計画からみる薬剤師への期待について 講師 池田大輔氏（厚生労働省医政局地域医療計画課外来・在宅医療対策室）
第2回（7/20）	講演：第8次保健医療計画について 講師 柏原佑樹氏（神奈川県健康医療局保健医療部医療課）
第3回（11/30）	講演：一般用医薬品の販売について 講師 岩月進氏（公益社団法人日本薬剤師会常務理事）
第4回（02/15）	意見交換会 テーマ 「地域における夜間・休日の医薬品提供体制について」

(6) 委員会

- | | |
|----------------------------|---|
| ① 組織会員委員会 | 4回 (5/26 web 併用、8/31、11/28、3/12) |
| ② 広報委員会 | 4回 (5/19 web 併用、8/8 web、10/11、2/2web) |
| ・HP 打合せ会 | 1回 (6/13) |
| ③ 薬壺編集委員会 | 6回 (5/31 web 併用、7/25 web 併用、9/27 web 併用、11/29 web 併用、1/31 web、3/27 web 併用) |
| ④ 生涯学習委員会 | 3回 (8/16、10/6 web、2/7 web) |
| ・研修企画・運営小委員会 | 2回 (10/16 web、11/13 web) |
| ・認定薬剤師認定小委員会
(審査会：同日開催) | 10回 (4/18 web、6/14 web、7/14 web、9/7、10/12 web、11/9 web、12/14 web、1/11 web、2/8 web、3/13 web) |
| ・外部評価小委員会 | 1回 (6/9) |
| ⑤ 医療・介護保険委員会 | 4回 (6/1、8/24、11/16、2/29) |
| ・在宅小委員会 | 1回 (5/17) |
| ・調剤業務適正小委員会 | 0回 |
| ⑥ 公衆衛生・学薬委員会 | 5回 (4/13 web 併用、7/12 web 併用、9/7 web 併用、12/7 web 併用、2/1web 併用) |
| ・小委員会 | 0回 |
| ⑦ 地域保健委員会 | 5回 (6/2 web 併用、8/29 web 併用、10/20 web 併用、1/19 web 併用、3/11 web 併用) |
| ⑧ リスクマネジメント委員会 | 4回 (6/8 web 併用、8/10 web 併用、9/14 web 併用、2/8 web 併用) |
| ・リスク対策小委員会 | 1回 (11/21 web) |
| ・薬局プレアボイド小委員会 | 1回 (3/28 web 併用) |
| ・リスクマネジメント小委員長会 | 2回 (5/16 web、8/1 web) |
| ⑨ 倫理研修委員会 | 3回 (4/17 web、8/7 web、11/6 web) |
| ⑩ 学術大会実行委員会 | 2回 (9/13web、3/14web) |
| ・県病薬との合同委員会 | 1回 (4/18web) |
| ⑪ 実務実習委員会 | 3回 (8/28 web 併用、12/22 web 併用、2/13 web 併用) |
| ・アドバンスワークショップ検討会 | 0回 |
| ⑫ 災害対策検討委員会 | 3回 (8/17 web 併用、10/18 web 併用、3/27) |
| ⑬ 総会議事運営委員会 | 2回 (4/20、1/23 web 併用) |
| ⑭ 代議員選挙管理委員会 (書類審査含む) | 3回 (6/1、7/14、8/18書類審査) |
| ⑮ 役員選挙管理委員会 (書類審査含む) | 1回 (6/5書類審査) |

- ⑯ 第2次公益法人運営特別会費検討委員会 2回(11/9、12/14)
- ⑰ くすりと健康相談薬局制度運営協議会 4回(4/6、8/3 web 併用、10/5、2/1 web 併用)
- ⑱ くすりと健康すこやかフェア実行委員会 2回(6/29 web 併用、9/13 web 併用)

(7) その他会議

- ① 正副会長会 15回(4/6、5/11、6/1、6/15、6/29、7/13、8/3、9/7、10/5、11/2、11/16、12/21、1/11、2/8、3/21)
- ② 春秋会 1回(7/13)
- ③ 倫理審査会 1回(8/31)
- ④ 各種委員会委員長会議 2回(10/26、2/22)
- ⑤ 新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 1回(12/12)
- ⑥ 第8次神奈川県保健医療計画対策チーム 2回(4/28、6/30)
- ⑦ 県健康医療局との連絡会 0回
- ⑧ 県薬務課との情報交換会 1回(7/27)
- ⑨ 神奈川薬業協議会 1回(9/7)
- ⑩ 神奈川県総合薬事保健センター入居団体会議 1回(10/12)
- ⑪ 会長賞等選考審査会 1回(11/16)

3 各種委員等就任状況

《行政関係》

(令和6年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会	小川会長	委員	関東信越厚生局
	関東信越地方社会保険医療協議会	阿部理事	臨時委員	関東信越厚生局
2	神奈川県薬事審議会	小川会長	副会長	薬務課
3	神奈川県薬事審議会薬物評価検討部会	小川会長	会長	薬務課
4	神奈川県献血推進協議会	唐澤理事	委員	薬務課
5	神奈川県薬物乱用対策推進本部会	小川会長	本部員	薬務課
6	神奈川県薬物乱用対策推進本部啓発・青少年対策部会	八鍬理事	部会員	薬務課
7	神奈川県後発医薬品使用促進協議会	阿部理事	委員	薬務課
8	薬物クリーンかながわ推進会議	小川会長	会長	薬務課

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係部署
9	薬物クリーンかながわ推進会議	後藤副会長	役員	薬務課
10	薬物クリーンかながわ推進会議広報委員会	藤本理事	委員	薬務課
11	神奈川県医療審議会	小川会長	委員	医療課
12	神奈川県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	医療課
13	神奈川県保健医療計画推進会議糖尿病医療連携検討部会	唐澤理事	委員	医療課
14	神奈川県医療安全推進協議会	後藤副会長	委員	医療課
15	神奈川県医療安全対策事業実行委員会	佐藤常務理事	委員	医療課
16	神奈川県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	医療課
17	神奈川県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	医療課
18	神奈川県外国人医療推進検討会議	伊藤理事	委員	医療課
19	神奈川県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	医療危機対策本部室
20	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（医療救護体制部会）	後藤副会長	構成員	医療危機対策本部室
21	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（ロジスティック部会）	小林常務理事	構成員	医療危機対策本部室
22	神奈川県エイズ対策推進協議会	八鍬理事	運営委員	医療危機対策本部室
23	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	委員	医療危機対策本部室
24	かながわ健康プラン21推進会議及びがん克服県民会議	大島常務理事	委員	健康増進課
25	神奈川県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	医療保険課
26	神奈川県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	医療保険課
27	医食農同源研究会 〈漢方理解促進等検討部会委員兼務〉	深澤理事	委員	健康増進課
28	神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会	森井理事	委員	健康増進課
29	神奈川県公衆衛生協会	小川会長	理事	健康増進課

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係部署
30	スモークフリー推進かながわ基金運営委員会	藤本理事	委員	健康増進課
31	神奈川県慢性腎臓病〈CKD〉対策連絡協議会	阿部理事	委員	がん・疾病 対策課
32	神奈川県慢性腎臓病〈CKD〉診療連携構築協議会	阿部理事	委員	がん・疾病 対策課
33	神奈川県地域包括ケア会議及び神奈川県在宅医療推進協議会	佐藤常務理事	委員	医療課 高齢福祉課
34	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津副会長	委員	高齢福祉課
35	神奈川県認知症施策推進協議会	佐藤常務理事	委員	高齢福祉課
36	神奈川県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育推進協議会	小川会長	委員	保健体育課
37	神奈川県学校給食特別優良学校現地審査会	唐澤理事	委員	保健体育課
38	学校給食表彰審査会	唐澤理事	委員	保健体育課
39	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る選考委員会	小川会長	委員	保健体育課
40	神奈川県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	生活衛生課
41	神奈川県医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤理事	委員	国際課
42	かながわ地球環境保全推進会議（県民部会）	平井専務理事	推進委員	環境計画課
43	かながわ脱炭素推進会議	平井専務理事	推進委員	環境計画課
44	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	小川会長	委員	青少年課

《その他》

（令和6年3月31日現在）

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
1	(公社)日本薬剤師会	長津副会長	常務理事	日本薬剤師会
2	(公社)日本薬剤師会 法制委員会	関水康成	委員	日本薬剤師会
3	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	佐村 優	委員	日本薬剤師会
4	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	堀川壽代	委員	日本薬剤師会

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
5	(公社)日本薬剤師会 地域医薬品提供体制検討委員会	小林常務理事	委員	日本薬剤師会
6	(公社)日本薬剤師会 薬局機能検討委員会	佐藤常務理事	委員	日本薬剤師会
7	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方検討会	八木多佳子	委員	日本薬剤師会
8	(公社)日本薬剤師会 薬学教育委員会	片山周也	委員	日本薬剤師会
9	(公社)日本薬剤師会 公衆衛生委員会	田口真徳	委員	日本薬剤師会
10	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究倫理審査委員会	竹内理事	委員	日本薬剤師会
11	(公社)日本薬剤師会 臨床・疫学研究推進委員会	竹内理事	委員	日本薬剤師会
12	(公社)日本薬剤師会 薬局薬剤師部会	林 直子	幹事	日本薬剤師会
13	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	諸角浩利 田中治己	幹事	日本薬剤師会
14	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 広報ワーキンググループ	神原大輔	委員	日本薬剤師会
15	(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会 学術ワーキンググループ	田口真徳	委員	日本薬剤師会
16	(公社)日本薬剤師会 薬局勤務薬剤師分科会	林 直子	監事	日本薬剤師会
17	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川会長	社員	薬剤師認定 制度認証機 構
18	認定薬剤師認証研修機関協議会 (CAPEP)	久保田常務理事	委員	認定薬剤師 認証研修機 関協議会
19	(一社)薬学教育評価機構評価委員会	久保田常務理事 花島情報センター長	評価実施員	薬学教育評 価機構
20	(一社)薬学教育協議会関東地区調整機構薬局小委員会	久保田常務理事	委員	薬学教育協 議会関東地 区調整機構
21	神奈川県学校保健連合会	小川会長 後藤副会長 小林常務理事 八鍬理事	副会長 理事 評議員 評議員	県学校保健 連合会
22	神奈川県学校保健連合会学校薬剤師部会	小川会長	部会長	県学校保健 連合会
23	神奈川県学校保健連合会健康手帳改訂委員会	八鍬理事	委員	県学校保健 連合会

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
24	神奈川県立学校保健会	唐澤理事	理事	県立学校保健会
25	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部審査運営協議会	小川会長	幹事会参与	診療報酬支払基金
26	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部診療報酬請求書審査委員会	長津副会長 佐藤常務理事 竹内理事	審査委員	診療報酬支払基金
27	神奈川県保険者協議会	長津副会長	委員	国保連合会
28	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会	小林常務理事 大島常務理事 夏目理事 福岡理事 藤本理事 渡邊美智留 瀧本 淳	審査委員	国保連合会
29	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	藤本理事	副会長	県予防医学協会
30	神奈川県医師会災害救助対策委員会	小林常務理事	委員	県医師会
31	神奈川県糖尿病対策推進会議幹事会	唐澤理事	幹事	県医師会
32	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会	小林常務理事	委員	県医師会
33	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	嶋監事 寺師三千彦	幹事 幹事	県医師会
34	神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	石井理事	委員	県歯科医師会
35	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤理事	委員	県歯科医師会
36	(公財)かながわ健康財団評議員会	小川会長	評議員	かながわ健康財団
37	(公財)かながわ健康財団がん対策推進会議	伊藤理事	委員	かながわ健康財団
38	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	平井専務理事	委員	かながわ健康財団
39	がん克服シンポジウム実行委員会	大島常務理事	委員	かながわ健康財団
40	神奈川県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	阿部理事	委員	県社会福祉協議会
41	神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業運営委員会	深澤理事	委員	県立こども医療センター

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
42	神奈川県がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会	唐澤理事	委員	県立がんセンター
43	神奈川県立保健福祉大学を支援する会	泉理事	理事	県立保健福祉大学
44	神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	泉理事	委員	横浜市大付属病院
45	(一財)北里環境科学センター評議員会	竹内理事	評議員	北里環境科学センター

4 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

① 神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）(2/14)

齋藤 昌久 山岸 悦子

イ 会長賞（団体）

該当なし

ウ 有功賞（2/14）

石井 房江	今木 勝敏	内橋 好美	小沢 正夫	小畑 幸子
後藤 稔	鈴木 耕三	堤 淳子	徳里 政助	中村 治江
平山 クニ	松下 美那子	湯本 知子	蓬畑 喜代子	渡辺 肇子

計15名

② 日本薬剤師会

ア 有功賞（4/1）

伊藤 洋子	臼井 タミ	笛吹 俊之	采女 宣子	太平 泰寛
柏谷 俊彦	楠本 敦子	古藤 いつみ	小林 秀行	
高野 千代子	谷原 好美	堤 由恵	中島 紀明	中村 直子
二宮 法子	長谷川 遵子	松野 孝子	宮城 洋子	山本 紀子

藁科 智代 計20名

イ 学校薬剤師賞（10/26）

石渡 宏衛

(2) 叙勲・大臣表彰

① 叙勲

瑞宝双光章〈高齢者叙勲〉(6/1)

相羽 靖一

② 厚生労働大臣表彰

ア 薬事功労（10/23）

長津 雅則

イ 公衆衛生事業功労（2/20）

山形 光正

③ 文部科学大臣表彰

学校保健及び学校安全表彰（10/26）

小野 裕子

（3）神奈川県知事表彰

保健衛生

医療関係功労者（11/17）

菅野 君子

（4）その他各種表彰

① 神奈川県公衆衛生協会長表彰（11/21）

夏目 善文

② 日本公衆衛生協会長表彰（2/20）

塚本 久美

③ 学校保健功労者等表彰（11/12）

高橋 達也 後藤 知良 大久保 敦子 村田 博子 綾部 昭弘

加藤 康一郎 高橋 徹

5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 第8次医療計画及び地域医薬品提供体制に係る全国会議	令和5年5月8日	久保田常務理事
日薬 都道府県会長協議会（第1回）	令和5年5月24日	小川会長
日薬 関東ブロック会長会議（第1回）〈山梨〉	令和5年5月28日	小川会長
日薬 関東ブロック協議会（第1回）〈山梨〉	令和5年5月28・29日	小川会長 後藤副会長 長津副会長 伊藤常務理事 久保田常務理事 塚本常務理事
薬剤師認定制度認証機構 定時社員総会【web 併用】	令和5年6月23日	小川会長
第30回認定薬剤師認証研修機関協議会【web 会議】	令和5年6月23日	久保田常務理事 阿部理事
日薬 第102回定時総会	令和5年6月24・25日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 竹内理事、伊藤理事
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	令和5年7月26日	小川会長
日薬 緊急避妊薬販売に係るモデル的調査研究に関する説明会【web 会議】	令和5年7月31日	大島常務理事
上田薬剤師会薬剤レビュー・ワークショップ	令和5年8月19・20日	小林常務理事 八鍬理事
日薬 学校環境衛生検査技術講会	令和5年8月20日	濱地副委員長
日薬 都道府県会長協議会（第3回）	令和5年9月16日	小川会長
日薬 第56回日本薬剤師会学術大会（和歌山大会）	令和5年9月17・18日	小川会長 平井専務理事 花島薬事情報センター長
日薬 研修プラットフォーム全国説明会【web 会議】	令和5年10月4日	平井専務理事
日薬 緊急避妊薬販売に係るモデル的調査研究に関する説明会【web 会議】	令和5年10月10日	大島常務理事
日本薬学会第144年会での単位付与についての説明会【web 会議】	令和5年10月10日	久保田常務理事
第3回湘南医療大学薬学部 FD 研修会	令和5年10月25日	久保田常務理事

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 学校薬剤師学術フォーラム	令和5年11月5日	八鍬理事
日薬 医療DX・薬局機能向上・地域医薬品提供体制に係る全国担当者会議	令和5年11月7日	久保田常務理事 大島常務理事
日薬 関東・東京ブロック会議〈栃木〉	令和5年11月12・13日	小川会長 佐藤常務理事 大島常務理事 小林常務理事
日薬 緊急避妊薬販売に係るモデル的調査研究に関する説明会	令和5年11月16日	大島常務理事 花島薬事情報センター長
日薬 災害対策全国担当者会議	令和5年11月15日	平井専務理事
「薬剤師生涯研修認定制度」に関する意見交換会	令和5年11月24日	久保田常務理事
日薬 令和5年度都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者等研修会	令和5年12月1日	大島常務理事 唐澤理事 花島薬事情報センター長 澤田委員長 和田委員長
日薬 都道府県会長協議会（第4回）	令和6年1月10日	小川会長
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会〈神奈川〉	令和6年1月14日	小川会長、 長津副会長 平井専務理事 佐藤常務理事 小林常務理事 阿部・夏目・福島・ 藤本理事、 河野委員長 梶谷・亀山副委員長
認定薬剤師認証研修機関協議会 【web会議】	令和6年1月19日	久保田常務理事 福島理事
薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議〈東京〉	令和6年1月22日	久保田常務理事
日薬 薬事情報センター実務担当者等研修会	令和6年1月26日	石井理事
日薬 感染対策に関する指針・研修プログラムに係る試行的なオンライン研修	令和6年1月29日	佐藤常務理事 小林常務理事 花島薬事情報センター長
日薬 関東ブロック会長会議（第2回）〈埼玉〉	令和6年2月4日	小川会長
日薬 関東ブロック協議会（第2回）〈埼玉〉	令和6年2月4・5日	小川会長 平井専務理事 大島常務理事

会 議 名	開 催 日	出 席 者
関東・東京ブロックエリア内薬剤師会 災害対策連絡会（仮称）	令和6年2月6日	平井専務理事 小林常務理事
日薬 学校薬剤師部会東京・関東ブロック連絡会議【web 会議】〈神奈川〉	令和6年2月16日	小川会長 後藤副会長 平井専務理事 小林常務理事 唐澤理事、八鍬理事、 藤本理事、石井理事 和田委員長、大澤・濱 地副委員長
日薬 研究推進に関する全国会議【web 会議】	令和6年2月28日	久保田常務理事 花島薬事情報センター長
日薬 令和6年度調剤報酬改定等説明会	令和6年3月7日	藤本理事 河野委員長
病院・診療所・薬局実務者講習会（講演）	令和6年3月9日	久保田常務理事
日薬 第103回臨時総会	令和6年3月9・10日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 竹内理事、伊藤理事
国民医療を守るための総決起大会	令和5年12月4日	小川会長 久保田常務理事
県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」	令和5年12月12日	小川会長 後藤副会長 平井専務理事 佐藤常務理事 小林常務理事 菅野・加藤理事

会 員 の 動 向

<業 種 別 会 員 数>

(R6. 3. 31現在)

区分	薬 局				店 舗 販 売 業				その他(行政、病院、無職他)					合 計					
	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
R2年度	2,346	1,022	204	3,572	32	13	6	51	2	454	49	36	541	2,380	1,489	49	246	11	4,175
R3年度	2,317	985	191	3,493	32	15	7	54	1	428	44	31	504	2,350	1,428	44	229	10	4,061
R4年度	2,282	954	175	3,411	30	13	6	49	1	406	39	31	477	2,313	1,373	39	212	11	3,948
R5年度	2,230	908	167	3,305	26	13	5	44	1	440	29	30	500	2,257	1,361	29	202	11	3,860

[会員種別]

I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師

II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師

III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師

賛 助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
 本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
 神奈川県以外に在住する薬剤師

<入 会 者 ・ 退 会 者 数>

区分	入 会 者						退 会 者						差 引					
	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計	I 種	II 種	III 種	賛助	名誉 有功	計
R2年度	279	87	0	8	2	376	318	187	16	24	1	546	▲ 39	▲ 100	▲ 16	▲ 16	1	▲ 170
R3年度	222	97	0	7	0	326	243	163	9	23	2	440	▲ 21	▲ 66	▲ 9	▲ 16	▲ 2	▲ 114
R4年度	243	86	0	12	1	342	288	128	10	29	0	455	▲ 45	▲ 42	▲ 10	▲ 17	1	▲ 113
R5年度	232	102	0	9	0	343	277	124	11	19	0	431	▲ 45	▲ 22	▲ 11	▲ 10	0	▲ 88

●県内店舗数と会員店舗数比較

業 種	R5.3月	R6.3月		R4.3月	R5.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率
薬 局	4,156	2,269	54.6%	4,093	2,321	56.7%
店舗販売業	1,560	31	2.0%	1,547	36	2.3%
卸売販売業	556	76	13.7%	562	76	13.5%
薬種商販売業	1	0	0.0%	1	0	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	0	0	0.0%
配置販売業	161	0	0.0%	175	0	0.0%
計	6,434	2,376	36.9%	6,378	2,433	38.1%

※県内店舗数は、神奈川県薬務課発行『薬務行政の概要』による。

●県内薬剤師数と会員数比較 (※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数)

業 種	R4.12月	R6.3月		R2.12月	R5.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率
薬 局	16,092	3,141	19.5%	16,036	3,239	20.2%
病院・診療所	3,804	74	1.9%	3,682	82	2.2%
介護保険老人施設	97	6	6.2%	92	5	5.4%
大 学	160	65	40.6%	145	24	16.6%
医薬品販売業	1,913	114	6.0%	2,186	121	5.5%
行 政	409	34	8.3%	423	38	9.0%
その他業務	397	29	7.3%	428	24	5.6%
無職・不詳	846	195	23.0%	880	203	23.1%
計	23,718	3,658	15.4%	23,872	3,736	15.7%

※県内薬剤師数は、厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計」による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) かながわ薬剤師学術大会の開催

神奈川県病院薬剤師会と共催で、令和5年5月13日（土）・14日（日）の2日におたり、神奈川県総合薬事保健センターにおいて20回目となる薬剤師学術大会を開催した。

大会では、会員発表や研修会のほか、大会メインテーマである「いざ！薬剤師のDX～試される対応力～」に関する特別講演や薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会合同セミナーを実施した。

〔第20回かながわ薬剤師学術大会〕

会 期：令和5年5月13日（土）・14日（日）

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

主 催：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会

後 援：神奈川県、横浜市

参加者：230名

内 容：

（1日目）

○県民公開講座

・腸活薬剤師にご相談下さい

講師 田辺豪氏（大和漢方センター田辺薬局）

○健康測定会 脳年齢、血管年齢、肌年齢、マインドチェック他

（2日目）

○特別講演

・電子処方箋及び保険証のマイナンバーカードへの統合に関して

講師 伊藤健氏（厚生労働省大臣官房企画官）

○分科会 I 薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー

「入院前からの薬業連携」

基調講演

・入院時連携のすすめ～焼津での取り組みを例に～

講師 渡邊学氏（社会医療法人駿甲会法人本部医療技術部／コミュニティホスピタル甲賀病院医療技術部）

パネルディスカッション

・保険薬局における入院時持参薬へのフォロー・取り組みについて

講師 堀川壽代氏（金沢区薬剤師会／光栄堂薬局）

・保険薬局との情報連携に基づく持参薬管理体制の構築とその効果

講師 関雅子氏 他（横浜市立大学附属病院）

・服薬情報提供料3に対する当院の取り組みについて

講師 竹永悠司氏（日本医療伝道会総合病院衣笠病院）

・服薬情報提供料3－薬業連携、患者様との信頼関係強化へー

講師 今村祐樹氏（はまゆう薬局）

○分科会Ⅱ プレコンセプションケアについて

・プレコンセプションケア

講師 荒田尚子氏（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科）

・プレコンセプションケアに関する神奈川県への取り組み

講師 荒川久美氏（神奈川県健康医療局保健医療部健康増進課）

○分科会Ⅲ 療養の場所ごとに考える心不全患者のファーマシューティカル・ケア～シームレスなケア移行のために全体像を俯瞰し繋ぐ～

・救急・集中治療領域における急性心不全に対する薬剤師の役割～急性期から一般病棟へつなぐ～

講師 藤村一軌氏（湘南鎌倉総合病院薬剤部）

・一般病棟での心不全管理～地域へのシームレスな療養の移行をめざして～

講師 小原菜美氏（北里大学病院薬剤部）

・地域の中で心不全患者を支える薬局薬剤師の医療連携

講師 大貫ミチ氏（薬樹薬局宮前平2号店）

・転生したらステージCでした、じゃ済まされない～予防から始めるステージA/Bの心不全管理～

講師 土岐真路氏（聖マリアンナ医科大学病院治験管理室）

○会員発表優秀賞：口頭発表（3題）

・新型コロナウイルスワクチン接種後、ショック症状を呈した患者に薬剤師が早期介入した1例

磯部賢樹氏（社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院）

・神奈川県立学校における学校環境衛生活動（令和3年度）

滝澤聖一氏（公益社団法人 神奈川県薬剤師会公衆衛生・学薬委員会）

・エンシトレルビルにおける院内使用基準作成および使用実態調査に基づく評価

松浦将司氏（医療法人社団緑成会横浜総合病院 薬剤部）



講演要旨集表紙デザイン



県民公開講座チラシデザイン

(2) 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表

第 56 回日本薬剤師会学術大会で、公衆衛生・学薬委員会、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会が発表を行った。

会 期：令和 5 年 9 月 17 日（日）・18 日（月・祝）

会 場：和歌山県民文化会館他

主 催：日本薬剤師会／和歌山県薬剤師会

テーマ：和の心 ～未来へ～

内 容：口頭発表

- ・公衆衛生・学薬委員会

- 神奈川県和学校薬剤師による薬物乱用防止活動実施報告（2022 年度）

- ・医療・介護保険委員会

- 2023 年度保険薬剤師のための保険研修会「実践編」前後での意識変容調査

ポスター発表

- ・リスクマネジメント委員会

- 神奈川県における多重受診の実態調査～神奈川県薬剤師会リスクマネジメントの活動と情報共有の必要性と問題点の解析～

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に資するため、県内の薬剤師が行っている研究に対し、平成 24 年度から助成金を交付している。今年度は、2 件の応募があり、審査の結果、2 件が採択された。

（補助金の概要）

- ・対象研究テーマ 臨床薬学的研究、社会薬学的研究、医療経済・薬剤経済学的研究

- ・募集期間 令和 5 年 5 月 1 日～7 月 31 日

- ・金額 総額 100 万円

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に基づき、薬剤師が活動する分野の研究についての倫理審査を行うことになっており、4 件の申請があった。

(5) 薬学生育成に関する事業

① 地域薬剤師会実務実習担当者会議の開催

「かながわ労働センター」から講師を招き、実務実習の現場で起きている人間関係によるトラブルを回避することを目的にハラスメント研修を実施した。同研修の内容については各地域の実務実習担当者から指導薬剤師に伝達した。

ア 第 1 回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和 5 年 9 月 29 日（金）19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

内 容：ハラスメントのない職場づくり

講師 遠山康介氏（かながわ労働センター）

イ 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議

日 時：令和6年2月13日（火）19:00～20:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

内 容：・調整機構への受入薬局エントリー方法の変更について

・実務実習に関する伝達事項

・ハラスメント研修会の実施状況と地域のトラブルについて

- ② 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会の開催
薬局、病院及び大学のさらなる連携強化を図るため、意思疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として懇談会を開催した。

日 時：令和6年1月31日（水）18:30～20:00

会 場：web 開催

出席者：54名（県薬22名/県病薬5名/大学27名）

- ③ 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実現するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する薬学教育協議会で承認されたワークショップを病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催補助事業として実施した。

ア 第5回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日 時：令和5年7月16日（日） 9:00～19:00

7月17日（月・祝）9:00～18:00

会 場：横浜薬科大学

受講者：27名（薬局16名/病院10名/大学1名）

イ 第10回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日 時：令和5年9月23日（土・祝）9:00～19:00

9月24日（日） 9:00～18:00

会 場：昭和薬科大学

受講者：27名（薬局16名/病院10名/大学1名）

ウ 第12回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

日 時：令和5年10月8日（日） 9:00～19:00

10月9日（月・祝）9:00～18:00

会 場：昭和薬科大学

受講者：27名（薬局17名/病院10名）

- ④ 認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催

実務実習において薬学生への質の高い教育を実現するため、認定実務実習指導薬剤師を養成する講習会を開催した。

日 時：令和5年7月2日（日）13:30～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：75名（薬局49名/病院26名）

⑤ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

認定を受けた日から5年以上が経過した者を対象に、認定実務実習指導薬剤師の認定資格更新のための講習会を開催した。

日 時：令和6年2月4日（日）10:00～11:50

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：92名（薬局50名／病院42名）

⑥ 手引きを用いた実務実習の進め方の説明会の開催

新規受入れの認定実務実習指導薬剤師や実務実習受入薬局の薬剤師を対象に、改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習の進め方や今後の実習に求められる内容などについて説明会を開催した。

日 時：令和6年2月4日（日）13:30～15:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：10名（会員9名／一般1名）

⑦ 神奈川オリジナルアドバンスワークショップの開催

実務実習における指導の資質向上を目的に実施予定であったが、指導者・学生間のトラブルが増えている背景から、より多くの指導薬剤師を対象とすべく、今年度は担当者会議にてハラスメント講習会を実施し、アドバンスワークショップとしての開催は中止とした。

（6）新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

令和4年度に行った座談会の内容などを基に報告書の原案を作成し、検討会を開催。その議論内容及び今後の方向性について協議を行った。

令和6年度では、報告書の原案の内容をさらに精査し、ブラッシュアップを行い、薬局・薬剤師が進むべき進化への道を会員一人一人が考える契機となるような報告書にまとめ、会員に提示する。

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

① 神奈川県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

- ・学校環境衛生検査（県立学校全校〈全日制、定時制、通信制、支援学校等〉）
- ・県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 36 校）
- ・県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 28 校）
- ・学校環境衛生検査機器の現物照合、神奈川県教育委員会との打合せ会（8 月 31 日）

② 検査機器貸出

黒板検査用色票が新たに貸与された。前期・後期ともに 27 件、合計 54 件の貸出があった。

③ 学校報告書

前期：196 校（全 197 校）

後期：181 校（全 197 校）

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

① 薬物乱用防止啓発教室の開催

神奈川県からの委託事業として、県内の小学校・中学校・高等学校（公・私立）の生徒、教職員及び保護者を対象に、学校薬剤師が講師となり薬物乱用防止啓発教室を実施した。

区分	令和 5 年度		令和 4 年度		令和 3 年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	20	5,466	15	4,986	9	2,302
一貫校	0	0	0	0	4	1,061
中学校	94	15,723	75	13,248	61	10,612
小学校	234	17,857	195	14,729	137	11,483
PTA等	3	1,028	2	1,079	0	0
計	351	40,074	287	34,042	211	25,458

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

② 中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットの増刷

中高生向けリーフレットを 8,500 部増刷し、薬物乱用防止啓発教室の資料として学校薬剤師へ提供した。



中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットデザイン

(3) 医薬品適正使用教室の推進

① 啓発資材の購入

薬物乱用防止啓発動画 DVD の購入

購入数：3 種 6 枚

収載内容：・それってホント？事例でみる薬物乱用

・薬物のはなし～どうして学ばなきゃいけないの？

・Think about drugs!

(4) 学校保健向上事業

① 公衆衛生研修会（学校環境衛生編）の開催

日 時：令和 5 年 4 月 23 日（日）14:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

内 容：・2022 年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告

講師 濱地優作氏（公衆衛生・学薬委員会副委員長）

・（学校）薬剤師に求められる「災害時の知識」について

講師 金子弘之氏（ミツワ薬局）

② 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催

日 時：令和 5 年 4 月 23 日（日）12:00～13:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・学校環境衛生検査について

・薬物乱用防止啓発事業について

・2023 年度全国学校保健調査について

・意見交換

③ 公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和 5 年 8 月 6 日（日）14:00～17:05

会 場：相模原市民会館

内 容：・学校環境衛生検査について

講師 濱地優作氏（みねおか調剤薬局）

・（実習）学校環境衛生検査実技

進行 和田野歩氏（坂本薬局妙蓮寺店）

④ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が実施している全国学校保健調査は今年度から完全 web 化され、地域薬剤師会の協力のもとで実施した。

なお、本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として、毎年文部科学省へ日本薬剤師会から報告を行っている。

期 間：令和 5 年 8 月 30 日～11 月 30 日

対 象：神奈川県内学校薬剤師

報告数：1,140 校

内 容：2022 年度の飲料水について

⑤ 令和5年度学校薬剤師部会東京・関東ブロック連絡会議の開催（幹事県）

日 時：令和6年2月16日（金）18：00～20：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

出席者数：40 名

内 容：・学校薬剤師部会活動の現状報告と課題等について

・東京・関東ブロックの現状及び課題に関する報告

・東京・関東ブロックにおける学校薬剤師活動等に関する協議

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し医薬品の適正使用など健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催により、お薬相談や肌年齢測定などの健康度チェックなどを実施した。

(2023 くすりと健康すこやかフェア)

日 時：令和5年10月19日（木）10:00～16:00

会 場：横浜新都市プラザ

共 催：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県製薬協会、
神奈川県医薬品配置協会、神奈川県栄養士会

後 援：神奈川県、横浜市医療局

内 容：パネル展示、お薬相談、健康測定（血管年齢測定、骨健康測定、心と身体
のバランス測定、肌年齢測定）、チラシ・パンフレット配布、栄養相談、医薬
品等に関するアンケート

実 施：・血管年齢測定（県薬剤師会） 134 件
・骨健康測定（県薬剤師会） 128 件
・心と身体のバランス測定（県薬剤師会） 87 件
・肌年齢測定（県薬剤師会） 107 件
・お薬相談（県病院薬剤師会） 70 件
・栄養相談（県栄養士会） 25 件
・アンケート用紙回収 422 件

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」（10月17日～23日）において、厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構などが作製したポスターやチラシなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付し、かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発を実施した。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

① 県民向け情報発信事業

県民が薬剤師を身近な存在と感じ、薬に関することを気軽に相談できるよう、神奈川県薬剤師会公式YouTubeに薬の正しい飲み方などの動画を投稿した。

また、令和5・6年度アップロード用の動画撮影を行った。動画撮影会には神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバーにも参加してもらい、撮影会の様子などを神奈川県薬剤師会SNSで発信し、県民向けに活動のPRもできるように進めた。



薬剤師直伝！複数の坐薬使用同時はNG
令和5年7月18日投稿 YouTube 画像



錠剤を嚙んで飲む あり？なし？
令和5年9月1日投稿 YouTube 画像



薬剤師直伝！
世界一わかりやすい薬の形状解説ガイド
令和5年10月20日投稿 YouTube 画像



サプリメント VOL.1 薬剤師直伝！
サプリメントの秘密徹底解説
令和6年1月16日投稿 YouTube 画像

(4) セルフメディケーションの推進

① 県民向け啓発グッズの作製

県民に対するセルフメディケーションの普及・啓発を目的として、くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間などのイベントで配布するためのグッズを作製した。

- ・絆創膏 (7,000 個) 《増備》
- ・マスク (3,000 枚) 《増刷》
- ・啓発ポスター秋バージョン (A2判 2,400 枚)
- ・啓発ポスター春バージョン (A2判 2,400 枚)



絆創膏パッケージデザイン



絆創膏デザイン



マスクパッケージデザイン



春バージョンポスターデザイン



秋バージョンポスターデザイン

② 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

地域住民のセルフメディケーションのサポートする能力を向上させ、薬局薬剤師の職能を充実させることを目的として開催した。

ア セルフメディケーション研修会 ～総論編～「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会

日 時：令和5年5月28日（日）14:00～16:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・トラベルファーマシー

講師 長谷川充氏（帝京大学医学部附属病院薬剤部）

・海外渡航先への医薬品（麻薬、向精神薬、覚醒剤）携帯について

講師 関東信越厚生局麻薬取締部調査総務課厚生労働技官

・海外渡航先への医薬品の携帯について」

講師 堀川壽代氏（光荣堂薬局）

林直子氏（慶応義塾大学薬学部附属薬局）

イ セルフメディケーション研修会～事例編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ講座

日 時：令和5年9月10日（日）14:00～15:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・薬局に来る女性の悩みって？

妊娠SOSを通して薬剤師さんにも知ってほしいこと

講師 又木由美氏（神奈川県助産師会事業統括理事）

・高校生の日常生活における相談内容について

講師 金井麻里氏（神奈川県立茅ヶ崎高等学校養護教諭）

・SGD

③ 健康測定機器の実例報告

貸出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会誌「薬壺」で紹介した。

・2024年 1・2月号掲載 木須薬局駅前店（横浜市旭区）

・2024年 3・4月号掲載 金沢区薬剤師会（横浜市金沢区）

④ 健康測定機器による健康相談の推進

ア 健康測定機器等の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器など 10 機種 16 台を地域薬剤師会及び会員薬局に貸し出した。

なお、本会が認定する「くすりと健康相談薬局」には、優先的に予約受付期間を設けている。

令和 5 年度貸出区分別実績（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分	件数
会員薬局	42
地域薬剤師会	28
くすりと健康相談薬局	109
計	179

令和 5 年度貸出機器別実績

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分 機器名	保有台数	貸出台数		計
		会員及び 地域薬剤師会	くすりと 健康相談薬局	
脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器	4	27	38	65
血管年齢計	3	22	29	51
骨健康測定器	2	20	29	49
肺年齢計	2	3	4	7
血圧計	1	2	1	3
環境放射線モニター※	2	0	0	0
心と身体のバランス測定器	2	11	17	28
肌の年齢測定器	2	15	27	42
心血管指標AVI・API&血圧測定	1	9	14	23
認知機能セルフチェッカー	1	12	14	26
計	20	121	173	294

※自然物や人工物から放出される放射線測定器

⑤ 医薬品登録販売者継続研修（県医薬品登録販売者協会との共催事業）

医薬品医療機器等法に基づき、登録販売者を置く薬局開設者を対象に法定義務研修である本研修を実施した。

ア 第 1 回 日 時：令和 5 年 6 月 7 日（水）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）

受講者：129 名（会員 53 名/一般 76 名）

内 容：・排尿障害（DVD）

- ・薬事関係法規、制度、医薬品の適正使用・安全対策
- ・リスク区分等の変更があった医薬品

- イ 第2回 日 時：令和5年9月16日（土）9:30～13:00
 会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）
 受講者：129名（会員53名/一般76名）
 内 容：・重要補気薬である（人参）とは
 ・うおの目・たこ・いぼ
- ウ 第3回 日 時：令和5年11月16日（木）13:00～16:30
 会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）
 受講者：132名（会員53名/一般79名）
 内 容：・疲れ目、目の乾き、痒み、結膜炎、ものもらい
 ・全国統一薬事講習会
 ・専門家としての適切な関与
- エ 第4回：日 時：令和6年2月11日（日）9:30～13:00
 会 場：神奈川県総合薬事保健センター（web 併用）
 受講者：132名（会員54名/一般78名）
 内 容：・咳、痰、呼吸困難
 ・生理痛がある

（5）くすりと健康相談薬局の推進

令和5年9月1日付けで新規10件、更新39件（令和2年度認定薬局）を合わせて、
 合計49件の薬局を認定し、県内の認定薬局は261薬局となった。

申請期間：令和5年5月8日～令和5年5月31日

申請薬局：49薬局

認定薬局：49薬局

認定期間：令和5年9月1日～令和8年8月31日

① 認定証交付式の開催

（令和5年度くすりと健康相談薬局認定証交付式）

日 時：令和5年9月10日（日）13:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

② チラシ、啓発グッズ等の作製・配布

県下一斉相談週間の開催にあたり、次の啓発グッズを作製した。

- ・県民向けチラシ 薬局PR用27,000枚、制度PR用5,000枚
- ・のぼり（大）50個《増刷》
- ・絆創膏7,000個《増備》（再掲）
- ・マスク3,000枚《増刷》（再掲）
- ・ウェットティッシュ8,000個《増刷》
- ・カレンダー 8,000部



カレンダーデザイン

③ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行っている相談薬局業務を改めて県民にアピールするため、「県下一斉相談週間」を実施した。昨年に引き続き、各認定薬局独自のチラシなどのポスティング費用の一部を補助する企画を実施した。

期 間：令和5年11月6日（月）～12日（日）

会 場：各認定薬局

- ・ポスター（A3判）の作製：300枚
- ・チ ラ シ（A6判）の作製：8,000枚



ポスター、チラシのデザイン

④ 認定薬局取材記事の会誌への連載

会誌「薬壺」において認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

- ・第21回 トップファーマシー（横浜市都筑区：2023年5・6月号）
- ・第22回 みどり薬局（横浜市泉区：2023年11・12月号）

（6）薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用や薬害の防止等を推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会及び製薬メーカーなどから医薬品や副作用等の情報収集し、会員や医師、県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応や情報提供などの支援を実施した。

令和5年度相談件数 783件/前年度 981件

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画

神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県歯科医師会・神奈川県薬剤師会の計6団体が共催で、同セミナーを次のとおり開催した。

日 時：令和6年2月4日（日）10：00～12：00

会 場：神奈川県総合医療会館7階講堂（web 併用）

受講者：393名

内 容：・神奈川県における医療安全対策について

（第8次神奈川県保健医療計画、神奈川県医療安全相談センターの相談状況）

講師 市川良成氏（神奈川県健康医療局保健医療部医療課長）

・診療録（カルテ）や看護記録の重要性について

～医師や看護師が記載した診療録が紛争解決に役立った事例～

講師 平沼直人氏（平沼高明法律事務所所長）

・DEM事業

日本薬剤師会が実施している、薬局が医薬品の適正使用に一層貢献することを目的とし、地域の薬局から副作用などの情報を迅速かつ的確に収集するための基盤整備を目指すDEM事業に協力し、DEM事業報告用の案内ページ「日本薬剤師会DEM事業にご参加ください」を作成するとともに、日本薬剤師会より送付された資材を会員薬局へ配布した。

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

高齢者の転倒防止、子どもの誤飲防止対策として啓発動画を作成し、薬局における患者とのコミュニケーションツールの一環として活用を促すため、神奈川県薬剤師会公式YouTubeへ投稿し周知を図った。



高齢者の転倒防止を防ぐには？

令和5年9月14日投稿 YouTube 画像



子どもによるお薬の誤飲事故を防ぐには？

令和5年9月14日投稿 YouTube 画像

（３）多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

① 多重受診に関する情報の周知

多重受診防止対策として、保険者から給付制限された患者などの情報について、リスクマネジャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図った。また、処方箋偽造を行使した患者の情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

・多重受診 58 件 ・処方箋等偽造 7 件

（４）高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理などのため、医療機器販売業務の営業管理等に係る研修の受講が毎年必須であることから、日本薬剤師会との共催による研修会を開催した。

会 期：令和 6 年 2 月 1 日（木）～ 2 月 8 日（木） 8 日間（実施）

会 場：web 開催（日本薬剤師会コンテンツを利用したオンデマンド配信）

受講者：943 名（会員 699 名/一般 244 名）

（５）薬害関連資料収集検討

薬害の起こらない安全な社会にするために、また、これまでの薬害事例から学ぶことは重要であるとして、約 10 年にわたり実施した薬害関連資料収集検討事業について取りまとめを行い、薬壺 2024 年 3・4 月号に掲載した。

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、神奈川県赤十字血液センターと協力し、街頭でプラカードを使い、トライアルメンバーとともに献血への協力を呼びかけて献血の大切さを積極的に周知した。

① 第1回 日 時：令和5年6月25日（日）10:00～16:00

会 場：フレスポ小田原シティーモール

献血者：54名

② 第2回 日 時：令和6年3月24日（日）10:00～16:00

会 場：本厚木駅北口広場

献血者：56名

(2) 薬物乱用防止の啓発

① 街頭キャンペーン

ア 令和5年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

日 時：令和5年7月5日（水）15:00～15:45

会 場：横浜新都市プラザ

主 催：薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県、神奈川県薬剤師会

イ 令和5年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

日 時：令和6年1月8日（月・祝）11:30～12:30

会 場：J R新横浜駅北口東広場及びペデストリアンデッキ

主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

② 街頭キャンペーン啓発資材作成

県民向けに薬物乱用防止及び薬物の危険性の周知を図るため、啓発資材としてボールペン 7,000 個を作製し、薬と健康の週間事業やくすりと健康すこやかフェア等で配布した。



ボールペンデザイン

③ 県民向け薬物乱用防止啓発資材作成

薬物乱用防止啓発リーフレットを 4,000 部増刷



薬物乱用防止啓発リーフレットのデザイン

④ アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者及び地域薬剤師会等への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック 2023 年版」の購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。



⑤ 公衆衛生研修会（アンチドーピング編）

日 程：令和 5 年 11 月 5 日（日）14：00～16：10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：「スポーツの価値」とアンチ・ドーピング

講師 関水康成氏（日本ラグビーフットボール協会アンチ・ドーピング委員会委員長）

（3）公衆衛生向上事業

① 公衆衛生研修会（手指衛生編）

日 程：令和 5 年 10 月 1 日（日）14：00～16：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：感染対策と手指衛生、正しい手洗いの習得（実技）

講師 野田衛氏（麻布大学客員教授）

（4）かながわ健康財団等事業への参画

① 健康チャレンジフェアかながわ 2023

神奈川県内の専門職団体が「健康寿命延伸に向けてセルフケアに基づく健康づくりの実践活動普及」を目的に企画されたイベントに、実行委員会の構成メンバーとして負担金を拠出した。

日 時：令和 5 年 11 月 12 日（日）12:00～16:00

会 場：横浜新都市プラザ

主 催：かながわ健康財団

② 薬物クリーンかながわ推進会議

ア 令和 5 年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）（P 31 参照）

日 時：令和 5 年 7 月 5 日（水）15:00～15:45

会 場：横浜新都市プラザ

主 催：薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県、神奈川県薬剤師会

イ 令和 5 年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）（P 31 参照）

日 時：令和 6 年 1 月 8 日（月・祝）11:30～12:30

会 場：J R 新横浜駅北口東広場及びペDESTリアンデッキ

主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

③ かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加

ア 川崎会場 日 時：令和 5 年 7 月 8 日（土） 17：30～18：30

会 場：J R 武蔵小杉駅北口駅前広場

派遣人数：1名

イ 横浜会場 日 時：令和5年7月15日（土） 18：00～19：00
会 場：新横浜駅

派遣人数：1名

ウ 横浜会場 日 時：令和5年11月24日（金） 17：00～18：00
会 場：新横浜駅

派遣人数：1名

エ 川崎会場 日 時：令和5年11月28日（火） 17：00～18：00
会 場：JR 武蔵小杉駅北口駅前広場

派遣人数：1名

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれるため、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

① 薬剤師向け支援事業

在宅医療研修会の開催

日 時：令和5年12月3日（日）13:00～15:10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・在宅医療において薬剤師に期待すること

講師 二森浩行氏（にもり内科クリニック院長）

・（SGD）臨時処方時における適切な保険請求について

講師 林成昭氏（あおぞら薬局）

② 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

在宅医療支援薬局リストの作成

作成数：2,900 冊

登録薬局数：964 薬局（令和5年7月現在の申請薬局）

配布先：在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等



在宅医療支援薬局リスト

表紙デザイン

③ 在宅医療支援薬局ステッカー作製

在宅医療支援薬局の新規登録薬局へ配布するステッカーについて、在庫減少に伴い新規作製を予定していたが、令和5年度は残数で対応可能となったため、作製は見送りとした。

④ 認知症対応力向上研修会の開催

日 時：令和5年9月24日（日）13:00～17:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・これからの認知症多職種連携 ～高齢者の精神症状への対応～

講師 深澤隆氏

（はちのへ認知症疾患医療センター長/青仁会青南病院長）

・パーソン・センタード・ケアについて

講師 曾谷真由美氏

（河北医療財団天本病院/認知症看護認定看護師/保健師）

・心配ではなく、心くばりが出来ていますか？

講師 矢作博之氏（かながわオレンジ大使）

⑤ お薬に関する出前講座への講師派遣

医薬品の正しい使い方や副作用が出たときの対応など、お薬全般について分かりやすく説明をする「お薬の基礎知識に関する出前講座」を神奈川県から委託を受け、講師派遣を行った。

派遣先：16 団体 30 件

派遣人数：30 名

参加者数：819 名

⑥ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会から推薦された医療・介護保険委員会の委員が専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に協力した。

〈派遣先機関及び回数〉

- ・介護の未来 5回（5月30日～6月26日、6月2日～7月3日、10月6日～10月23日、1月10日～2月8日、2月6日～3月25日）
- ・神奈川県社会福祉協議会 3回（8月3日、9月13日～9月26日、12月7日）
- ・神奈川県社会福祉協議会・横浜市社会福祉協議会 1回（1月31日～2月29日）

（2）薬・薬連携の強化と相互の資質向上

① 薬薬連携情報交換会

薬薬連携を通じて、神奈川県病院薬剤師会との相互関係の理解を深め、薬薬連携合同セミナーや褥瘡治療薬サミットなどの共催事業の充実を図るため会議を開催した。

日 時：令和5年8月1日（火）19:30～20:30

会 場：web 開催

② 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

ア 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

「入院前からの薬薬連携」

※第20回かながわ薬剤師学術大会内で実施（再掲）（P15 参照）

日 時：令和5年5月14日（日）13:00～14:30

場 所：神奈川県総合薬事保健センター

イ 褥瘡治療薬サミット in かながわ 2023 の開催

日 時：令和5年10月15日（日）13:00～17:20

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・褥瘡の外用薬治療「骨太改革 2022 で明確にされた褥瘡における薬剤師の役割」

講師 古田勝経氏（愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長・
国立長寿医療研究センター特任研究員）

・実習

③ 入退院時の薬局と病院薬剤部の連携に関する調査事業

神奈川県の委託事業と内容が類似しているため、事業を中止した。

（3）後発医薬品の使用促進

① 県民向け使用促進

後発医薬品の使用促進について、ホームページで情報を発信した。

(4) 医薬分業の質的向上

① 薬学管理料の効果調査

在宅医療に係る多岐に渡るサービスの実態を調査し、薬学管理料の効果などを検証するため、調査方法等を次年度以降に改めて検討することとした。

② 診療報酬に関する三者懇談会

適切な保険請求を実施するため、調剤報酬に関する情報を収集・共有した。

日 時：令和5年7月22日（土）16:40～19:10

会 場：社会保険診療報酬支払基金神奈川支部

③ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し、会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に、保険指導薬剤師による打合せ会を開催した。

日 時：令和5年10月19日（木）18:30～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：個別指導の事例研究

④ 行政指導への立会等について

関東信越厚生局の依頼により、関東信越厚生局及び神奈川県による社会保険医療担当者の新規・個別指導、集団的個別指導へ立ち会った。

⑤ 10 都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会（幹事県）

関東信越厚生局管内 10 都県の薬剤師会社会保険担当者による連絡協議会を開催した。

日 時：令和6年1月14日（日）13:30～16:00

会 場：横浜ベイホテル東急

⑥ 保険薬剤師のための保険研修会（実践編）の開催

日 時：令和5年4月9日（日）14:00～17:25

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・薬歴の書きかたの要点について

講師 江島慎太郎氏（東芝林間病院薬剤部）

・（SGD）服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿の作成

進行 河野一規氏（医療・介護保険委員会）

⑦ 保険調剤の正しい理解のための研修会の開催

日 時：令和5年9月3日（日）13:00～14:50

会 場：web 開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 三浦健太氏（こぐま薬局）

・調剤審査における指摘事項について

講師 福嶋仁氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

・法的根拠から考える薬局がしなくてはならない事・してはならない事

講師 長沼寿志氏（ひなた薬局林店）

⑧ 社会保険指導担当者会議の開催

保険調剤の算定要件を理解し、適切な保険請求の実施並びに理解に資するため、地域薬剤師会の社会保険担当者を対象として、令和6年度調剤報酬・介護報酬改定内容の説明を予定していたが、従来の改定は4月1日施行であったのに対し、令和6年度の改定は2ヶ月後ろ倒しとなる6月1日施行となるため、開催を見送った。

 ⑨ 神奈川県からの委託に基づく薬薬・薬診連携の向上

神奈川県から委託を受け、情報提供書（トレーニングレポート）を活用した薬局と医療機関との連携に係る研修会や調査を実施し、地域包括ケアシステムにおける医療機関や多職種との連携機能の向上を図った。また、会員薬局へ周知するため、情報提供書（トレーニングレポート）の実践に必要な情報を取りまとめた実施報告書を2,500部作成した。

⑩ 保険薬局ハンドブックの販売

令和4年度改訂の2022保険薬局ハンドブックの有償販売を行った。

販売数 14冊

 ⑪ 薬剤師資格証（HPKI）の交付事業

令和5年4月からオンライン資格確認などのシステムの導入が原則として義務化されたことに伴い、電子処方箋の運用に必要な薬剤師資格証（HPKI）の交付を日本薬剤師会と連携して行った。

令和5年度交付数：505件

⑫ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催

日本薬剤師会提供コンテンツをオンライン配信する研修会を実施した。

日 時：令和6年1月28日（日）13:00～16:30

会 場：web 開催

内 容：・オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

受講者：201名（会員96名/一般105名）

（5）外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民や来県する外国人が安心・安全に医薬品を適正使用するための支援を本会ホームページに継続して掲載した。

・「外国籍県民のための服薬情報提供文書」及び「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」

・「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が行う公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を交付するとともに、先導的事业に対して先導的事业委託金を交付した。

公益目的事業補助金：18 地域・職域薬剤師会 交付決定額 21,611,000 円

先導的事业委託金：1 地域薬剤師会 交付決定額 417,000 円

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」及び健康サポート薬局の基準告示（平成 28 年 2 月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会との連携のもと、研修事業を実施した。現在の神奈川県内健康サポート薬局登録数は 193 薬局。

① 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会 A）

日 時：令和 5 年 7 月 30 日（日）9:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：53 名（会員 39 名/一般 14 名）

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源他

② 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会 B）

日 時：令和 5 年 7 月 30 日（日）14:00～18:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：40 名（会員 26 名/一般 14 名）

内 容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～

- ・一般用医薬品等を取り巻く現状
- ・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

③ 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会 A）

日 時：令和 5 年 12 月 17 日（日）9:30～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：67 名（会員 42 名/一般 25 名）

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

- ・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師
- ・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待
- ・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例
- ・神奈川県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源他

④ 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会 B）

日 時：令和 5 年 12 月 17 日（日）14:00～18:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：46 名（会員 23 名/一般 23 名）

内 容：・健康サポート薬局の理念 ～健康情報拠点としての覚悟～

- ・一般用医薬品等を取り巻く現状
- ・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

(8) その他

① 新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルスの抗原定性検査キットを入手しやすいよう国・県が販売薬局リストを作成しているが、厚生労働省サイト「新型コロナウイルス抗原検査キットの取扱薬局・店舗マップ・リスト」への新規掲載、削除、訂正を希望する薬局からのファイルを取りまとめた。(取扱件数 178 件)
- ・厚生労働省委託事業「自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業」の実施

厚生労働省通知「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」等に基づき、新型コロナウイルス感染症の更なる拡大防止や患者・医療従事者の感染リスクを避けることを目的に、電話や情報通信機器による服薬指導を実施した後に自宅療養等の患者宅等に薬剤を配送する場合の配送料の支援を令和 2～4 年度に引き続き実施した。

実施期間 : 令和 5 年 3 月 1 日～令和 6 年 2 月 29 日

申請薬局数 : 24 薬局

申請金額 : 61,339 円

② 日本薬剤師会「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」への協力

日本薬剤師会が厚生労働省から委託を受けた「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」に、川崎市薬剤師会、藤沢市薬剤師会の協力のもと参加し、調査研究事業に協力した。

- ・調査研究事業参加薬局 : 川崎市内 3 薬局、藤沢市内 3 薬局

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

各地域薬剤師会との迅速な連携及び的確な初動体制の確保を目的として、各地域薬剤師会の担当者が所持する災害時優先携帯電話の通信訓練を実施した。

(災害時優先携帯電話通信訓練)

・実施期間 令和5年12月18日～12月22日

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、必要な資機材・生活必需品等を会館内に適切に配置するよう、定期的な確認を行った。

また、災害対策用備蓄品については、使用期限が到来する生活用品類の入れ替えを行った。

<災害用備蓄品整備一覧表>

NO	種別	内容等 () 内は数量
1	飲料水	ミネラルウォーター500ml (600)
2	食品	レトルト白米 (70)、五目御飯類 (650) 缶詰め類 (168) 缶入りベーカリーパン (72)
3	厨具用品類	カセットガスコンロ (2)、カセットガスボンベ (750) 鍋 (2)、柄杓 (2)、やかん (2)、スチロール食器 (200) 割箸 (300) スプーン (300) 発熱剤 (200)
4	生活用品類	生理用品 (858)、紙パンツ (102)、非常用トイレ (500) トイレトペーパー (60) ウェットティッシュ (60)
5	寝具類	毛布 (110)、折り畳み式ベッド (23)、寝袋 (20)、
6	防寒用品類	保温アルミシート (100)、使い捨てカイロ (300) カセットガストーブ (4)
7	電灯・ラジオ等	手回し充電懐中電灯 (49) 乾電池式懐中電灯 (2) ペンライト (30) スタンドライト (2) クリップライト (3) ラジオ (乾電池手回し充電併用) (1) ハンドスピーカー (1)
8	医療用品類	救急キット (43)、サージカルマスク (6,000) ディスポーサブル手袋 (9,500)、担架 (1)
9	機材・工具等	簡易カセットガス発電機 (3)、揚水用手動ポンプ (1)、 工具セット (1) 軍手 (144) 吸水性土嚢 (50)、ソーラー発電機一式 (1) カッター (4)、ドラム式延長コード (3) ホワイトボードマーカー用透明シート (20) 防災ヘルメット (30)

(令和6年3月31日現在)

(3) 災害時対応の整備

日本最大級の防災イベントである「ぼうさいこくたい 2023（第8回防災推進国民大会）」に日本薬剤師会、横浜市薬剤師会、横浜薬科大学等と共同で参加した。

また、毎年開催される全県レベルの総合防災訓練である「ビッグレスキューかながわ」の救護所設置・運営訓練に参画した。

① ぼうさいこくたい 2023

会 期：令和5年9月17日（日）・18日（月・祝）

会 場：横浜国立大学

主 催：防災推進国民大会 2023 実行委員会

(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

内 容：神奈川県薬剤師会の災害対策に係る取組を紹介するため、災害時優先携帯電話訓練結果に係るパネルを作成して展示・説明を行った。

② ビッグレスキューかながわ（令和５年度神奈川県・大井町合同総合防災訓練）

日 時：令和5年10月15日（日）9：00～12：00

会 場：大井町保健福祉センター

主 催：神奈川県、大井町

③ 令和6年能登半島地震への対応

1)横浜市薬剤師会からの要請への対応

横浜市薬剤師会が1月11日より派遣を開始したモバイルファーマシーでの支援活動への協力要請に応え、派遣薬剤師の募集を行い、4名の薬剤師を派遣した。

日程① 1月23日(火)～1月27日(土) 1名

日程② 1月27日(土)～1月31日(水) 1名

日程③ 1月30日(火)～2月03日(土) 1名

日程④ 1月31日(水)～2月04日(日) 1名

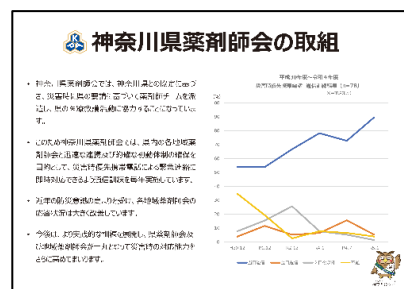
2) 日本薬剤師会からの派遣要請への対応

日本薬剤師会からの要請に応え、派遣薬剤師の募集を行い、6名の薬剤師を派遣した。なお、2月16日(金)～2月20日(火)に3名の薬剤師を登録、3月4日(月)～3月8日(金)についても2名の薬剤師を登録し、日薬から一旦協力要請を受けたが、後日日薬より連絡がありキャンセルとなった。

日程① 2月10日(土)～2月14日(水) 3名

日程② 2月13日(火)～2月17日(土) 3名

派遣場所：1.5 次避難所いしかわ総合スポーツセンター



展示パネルデザイン

Ⅱ 法人事業

1 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

- ① 総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、監査会などの各会議を開催した。また、総会運営や代議員選挙、役員選挙等に必要な事項を決定するため、総会議事運営委員会、代議員選挙管理委員会、役員選挙管理委員会を開催した。
- ② 令和5・6年度を任期とする代議員選挙・補欠の代議員選挙の実施
7月19日に選挙の告示、立候補受付が開始し、8月8日に立候補受付が締切られ、9月7日に選挙が実施され、9月14日に代議員65名、補欠の代議員26名の当選者が決定した。任期は、2年後の代議員・補欠の代議員選挙が終了する時までとした。(令和7年9月予定)
- ③ 令和5・6年度を任期とする理事及び監事選挙
5月19日に選挙の告示、立候補受付が開始し、6月2日に立候補受付が締切られ、6月18日の総会においてに理事25名、監事2名が選出された。任期は、令和5年6月18日の通常総会終結後から通常総会終結時までとした。(令和7年6月予定)
- ④ 春秋会を7月13日(木)に開催し、名誉会員、有功会員、相談役との意見交換や墓参会、懇親会を実施した。
- ⑤ 神奈川県薬剤師会会長賞等表彰式及び受賞者祝賀会
日 時：令和6年2月14日(水) 12:00~13:30
会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
出席者：37名(内受賞者14名)
- ⑥ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会
日 時：令和6年1月12日(金) 15:00~16:30
会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
出席者：141名
- ⑦ 神奈川県三師会役員連絡協議会
本年度は、本会が当番となり次のとおり開催した。
日 時：令和5年9月20日(水) 17:00~18:45
会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
内 容：新型コロナウイルス感染症への各師会の取組について
(基調発言)
 - ・神奈川県医師会における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応について
笹生正人氏(神奈川県医師会理事)
 - ・新型コロナウイルス感染症対応におけるリスク管理と情報発信
今宮圭太氏(神奈川県歯科医師会専務理事)
 - ・新型コロナウイルス感染症への薬剤師会の取組
久保田充明氏(神奈川県薬剤師会常務理事)

出席者：76名（本会22名/医師会27名/歯科医師会27名）

⑧ 大韓民国京畿道薬師会との交流

期 間：令和5年7月15日～16日

○第18回京畿道薬師会学術大会

日 時：令和5年7月16日（日）10：00～17：00

会 場：KINTEX 国際展示場（高揚市）

・開会式 来賓あいさつ 小川護

・特別講演 1.日本の調剤報酬「薬学管理料」の解説
2.近年日本の薬剤師、薬局に関する動向
講演者 福嶋 仁

○歓迎会

日 時：令和5年7月15日（土）18：00～20：00

会 場：コリアナホテル

出席者：（京畿道薬剤師会）役員22名、朴基培名誉会員大韓薬師会崔会長
神奈川県薬剤師会5名

（2）組織強化と財務の健全化

① 公益法人運営特別会費の検討

次のとおり第2次公益法人運営特別会費検討委員会を開催し、特別会費の見直しについて検討を行った。

第1回 日時 令和5年11月9日（木）18：00～19：30

会場 神奈川県総合薬事保健センター

内容 答申案（仮）について、今後のスケジュールについて

第2回 日時 令和5年12月14日（木）18：00～19：00

会場 神奈川県総合薬事保健センター

内容 答申案について

② 中間事業報告書の作成及び中間監査会の実施

中間事業報告書を令和5年度の9月期終了後に作成するとともに、11月14日に中間監査会を実施し、年度途中における事業実施状況及び予算執行状況等を確認した。

③ 公益法人制度への対応

公益社団法人としての定期提出書類「令和4年度事業報告」「令和6年度事業計画」等を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。

④ 登記等

令和5・6年度の新役員の登記を行った。

⑤ 日本薬剤師会会費の徴収を行うための事業連携協力に関する覚書を同会と締結した。

⑥ 神奈川県薬剤師会会員増強対策として、令和4年度保険薬局分担金の納入があった保険薬局103店舗に令和4年度事業報告書を送付し、礼状とともに本会の事業案内を行い、入会促進を図った。また、令和4年度新規保険薬局分担金納入保険薬局35件には2022保険薬局ハンドブックも送付した。

- ⑦ 関東圏内の薬学部4年生から卒業3年の薬剤師を対象とした令和5年度「神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバー（以下、トライアルメンバー）」の募集を行い、トライアルメンバーへ委員会体験や研修会参加の案内等を行った。また、組織会員委員会委員が活動状況を視察し、トライアルメンバーから生の声を聴くとともに個別アンケートも実施し、会員増強のための情報収集を行った。（令和6年3月31日現在46名）
- また、令和6年度からのトライアルメンバー登録についても募集を行った。
（令和6年5月31日募集締切、令和6年3月31日時点 8名応募）

神奈川県薬剤師会
ルーキー会員（仮称）
トライアルメンバー 募集!!

対象 令和6年4月時点
関東圏内の薬学部4年生～卒業3年の薬剤師
神奈川県薬剤師会会員からの紹介※
※単年に1～2回程度アンケートに回答していた方

トライアル期間
令和6年4月
～令和7年3月まで（予定）

特典 神奈川県薬剤師会会費無料!!
メールマガジン配信（各教育委員会）
神奈川県薬剤師会ホームページ・会員ページの閲覧
会誌「薬」のオンライン閲覧
オンライン研修・実地研修の参加（一部参加費あり）
各都道府県薬剤師会への参加依頼

申込み 「紹介会員のお名前・会員番号」をご準備の上
URLもしくはQRコードからお申し込みください
URL: <https://www.kanai.jp/wordpress/kanai-entry/create>
※募集締切日 令和6年5月31日（金）

お問い合わせ ☎045-761-3241 ☎平日9:00-17:00 ✉kanri-ka@mail.kpa.or.jp
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 管理課

<トライアルメンバー登録から参加費等のご案内までの流れ>

- トライアルメンバー登録後は、県内各薬剤師会に所属していただきます。
- 紹介会員様の名義に所属する場合は、所属薬剤師会からの承認が必要となります。
- 所属薬剤師会にては、紹介会員様もメンバーとして扱われます。
- (1) 所属（薬剤師会）
- (2) 所属（薬剤師会）
- (3) 所属（薬剤師会）
- (4) 所属（薬剤師会）
- (5) 所属（薬剤師会）
- (6) 所属（薬剤師会）
- (7) 所属（薬剤師会）
- (8) 所属（薬剤師会）
- (9) 所属（薬剤師会）
- (10) 所属（薬剤師会）
- (11) 所属（薬剤師会）
- (12) 所属（薬剤師会）
- (13) 所属（薬剤師会）
- (14) 所属（薬剤師会）
- (15) 所属（薬剤師会）
- (16) 所属（薬剤師会）
- (17) 所属（薬剤師会）
- (18) 所属（薬剤師会）
- (19) 所属（薬剤師会）
- (20) 所属（薬剤師会）
- (21) 所属（薬剤師会）
- (22) 所属（薬剤師会）
- (23) 所属（薬剤師会）
- (24) 所属（薬剤師会）
- (25) 所属（薬剤師会）
- (26) 所属（薬剤師会）
- (27) 所属（薬剤師会）
- (28) 所属（薬剤師会）
- (29) 所属（薬剤師会）
- (30) 所属（薬剤師会）
- (31) 所属（薬剤師会）
- (32) 所属（薬剤師会）
- (33) 所属（薬剤師会）
- (34) 所属（薬剤師会）
- (35) 所属（薬剤師会）
- (36) 所属（薬剤師会）
- (37) 所属（薬剤師会）
- (38) 所属（薬剤師会）
- (39) 所属（薬剤師会）
- (40) 所属（薬剤師会）
- (41) 所属（薬剤師会）
- (42) 所属（薬剤師会）
- (43) 所属（薬剤師会）
- (44) 所属（薬剤師会）
- (45) 所属（薬剤師会）
- (46) 所属（薬剤師会）

<トライアルメンバー登録後は…>

- トライアルメンバー登録後は、県内各薬剤師会に所属していただきます。
- 紹介会員様の名義に所属する場合は、所属薬剤師会からの承認が必要となります。
- 所属薬剤師会にては、紹介会員様もメンバーとして扱われます。
- (1) 所属（薬剤師会）
- (2) 所属（薬剤師会）
- (3) 所属（薬剤師会）
- (4) 所属（薬剤師会）
- (5) 所属（薬剤師会）
- (6) 所属（薬剤師会）
- (7) 所属（薬剤師会）
- (8) 所属（薬剤師会）
- (9) 所属（薬剤師会）
- (10) 所属（薬剤師会）
- (11) 所属（薬剤師会）
- (12) 所属（薬剤師会）
- (13) 所属（薬剤師会）
- (14) 所属（薬剤師会）
- (15) 所属（薬剤師会）
- (16) 所属（薬剤師会）
- (17) 所属（薬剤師会）
- (18) 所属（薬剤師会）
- (19) 所属（薬剤師会）
- (20) 所属（薬剤師会）
- (21) 所属（薬剤師会）
- (22) 所属（薬剤師会）
- (23) 所属（薬剤師会）
- (24) 所属（薬剤師会）
- (25) 所属（薬剤師会）
- (26) 所属（薬剤師会）
- (27) 所属（薬剤師会）
- (28) 所属（薬剤師会）
- (29) 所属（薬剤師会）
- (30) 所属（薬剤師会）
- (31) 所属（薬剤師会）
- (32) 所属（薬剤師会）
- (33) 所属（薬剤師会）
- (34) 所属（薬剤師会）
- (35) 所属（薬剤師会）
- (36) 所属（薬剤師会）
- (37) 所属（薬剤師会）
- (38) 所属（薬剤師会）
- (39) 所属（薬剤師会）
- (40) 所属（薬剤師会）
- (41) 所属（薬剤師会）
- (42) 所属（薬剤師会）
- (43) 所属（薬剤師会）
- (44) 所属（薬剤師会）
- (45) 所属（薬剤師会）
- (46) 所属（薬剤師会）

令和6年度トライアルメンバー募集案内チラシデザイン

令和5年度トライアルメンバーへの研修会・委員会体験等参加実績

(令和6年3月31日現在)

No.	実施日	実施内容	区分	参加実績
1	2023/5/13	健康測定会等お手伝い（横浜市磯子区）	委員会体験	4
2	2023/5/13	第20回かながわ薬剤師学術大会	研修会	0
3	2023/5/28	セルフメディケーション研修会	研修会	1
4	2023/6/6	薬剤師倫理研修会	研修会	1
5	2023/6/25	献血推進活動（小田原）	委員会体験	3
6	2023/7/5	「ダメ・ゼッタイ」普及運動街頭キャンペーン	委員会体験	0
7	2023/8/20	薬剤師倫理研修会	研修会	0
8	2023/8/31	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	研修会	1
9	2023/9/10	セルフメディケーション研修会～事例編～	研修会	1
10	2023/9/24	認知症対応力向上研修会	研修会	1
11	2023/9/28	第10回川崎市薬剤師会症候学研修会 ～めまい（2）～	研修会	1
12	2023/9/29	YouTube動画撮影会お手伝い 撮影場所の設置、スマートフォンによる撮影、出演（声）対応、撮影会様子等のSNS原稿作成等	委員会体験	1
13	2023/10/1	公衆衛生研修会（手指衛生編）	研修会	0
14	2023/10/5	薬剤師向け多文化対応力向上研修会	研修会	0
15	2023/10/15	褥瘡治療薬サットinかながわ2023	研修会	1
16	2023/10/17	瀬谷区薬剤師会研修会	研修会	0
17	2023/10/19	くすりと健康すこやかフェアでのイベント参加の声かけ	委員会体験	4
18	2023/11/5	公衆衛生研修会（アンチドーピング編）	研修会	1
19	2023/11/15	県下統一調剤事故防止研修会（海老名）	研修会	0
20	2023/11/16	調剤事故防止研修会（相模原）	研修会	0
21	2023/11/16	休日夜間急患調剤薬局事業に関する研修会（相模原）	研修会	0
22	2023/11/17	第14回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
23	2023/11/18	鶴見薬剤師会県下統一調剤事故防止研修会	研修会	0
24	2023/11/19	第3回薬剤師倫理研修会	研修会	0

No.	実施日	実施内容	区分	参加実績
25	2023/11/26	带状疱疹の知識を深める研修会	研修会	1
26	2023/11/29	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	研修会	0
27	2023/11/30	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	研修会	1
28	2023/12/3	在宅医療研修会	研修会	0
29	2023/12/7	県下統一調剤事故防止研修会（茅ヶ崎）	研修会	0
30	2023/12/9	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	研修会	0
31	2023/12/10	E B M研修会（基礎編）	研修会	0
32	2023/12/14	鎌倉市薬剤師会研修会	研修会	1
33	2023/12/15	県下統一調剤事故防止研修会（伊勢原・秦野）	研修会	0
34	2023/12/15	第15回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
35	2023/12/19	第11回川崎市薬剤師会症候学研修会～かぜ症候群～	研修会	2
36	2024/1/8	薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン	委員会体験	5
37	2024/1/21	入浴を科学する！入浴と睡眠の関係を深く学ぶ研修会	研修会	2
38	2024/1/25	湘南東地域薬剤師会協議会研修会	研修会	1
39	2024/1/28	小田原薬剤師会学術研修会 セルフメディケーション研修会	研修会	0
40	2024/1/29	第1回研究倫理研修会	研修会	0
41	2024/1/31	アンチ・ドーピング研修会（相模原）	研修会	0
42	2024/1/31	鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会 多職種連携講演会	研修会	0
43	2024/2/10	第9回神奈川吸入療法ステップアップセミナー初級編	研修会	0
44	2024/2/16	第16回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
45	2024/2/21	瀬谷区薬剤師会研修会	研修会	1
46	2024/2/22	第3回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	研修会	0
47	2024/2/25	第4回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	研修会	0
48	2024/3/7	プレアボイド合同研修会	研修会	0
49	2024/3/24	献血推進活動お手伝い（厚木）	委員会体験	2

- ⑧ 薬剤師資格証交付時に入会案内チラシを含む入会案内セットを非会員へ配付し、入会促進を行った。
- ⑨ 令和4年度に実施した「神奈川県薬剤師会に関するアンケート」の結果を受け、会員特典の詳細を会員等へわかりやすく案内した「会員特典のご紹介」リーフレットを作成した。
- ⑩ 令和6年度公益法人特別会費及び保険薬局分担金ランクの申告調査を実施した。
会員薬局 2,248 店舗、非会員薬局 190 店舗（依頼 1,608 件 1,829 店舗）
- ⑪ 保険薬局分担金を納入いただいた保険薬局 96 店舗に対し、謝礼として薬壺1年分を送付した。また、新たな入会の促進も行った。



「会員特典のご紹介」リーフレットデザイン

(3) 会員管理

- ① 県薬会費、公益法人運営特別会費及び日本薬剤師会会費の請求書を送付した。
 - ・口座振替1回（6月）
 - ・コンビニ収納等による会費等の請求（9月、12月、2月）
- ② 入会申請に係る入会審査を49回実施し、341名を承認した。
- ③ 会員規程で定めた手続きにより、会員の登録を行った。
- ④ 日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。
- ⑤ 会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページに、本人の承諾が得られた新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。
- ⑥ 薬局医薬品製造業許可者を対象に副作用拠出金・安全対策等拠出金の申告及び納入業務を行った。183件（令和5年6月～9月）
- ⑦ 会費未納者及び行方不明者について、規程に沿って会員資格喪失の処理を行った。

Ⅲ 共益事業

1 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

① 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会では、平成 23 年度から独自の生涯学習認定制度を運営していたが、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得し、生涯研修プロバイダーとして、事業を実施した。

ア 認証の情報

認 証 番 号 G21

初回認証期日 平成 29 年 3 月 10 日

更 新 期 日 令和 2 年 3 月 6 日（1 回目）

有 効 期 限 令和 8 年 3 月 9 日

イ 認定者の状況

令和 5 年度認定者数 14 名(新規 6 名／更新 8 名)

通算認定者数 55 名

ウ 認定薬剤師の更新者用徽章の作成

更新 2 回目の認定薬剤師へ認定証発送時に新徽章を授与した

エ 研修事業連絡会議

研修事業について、地域薬剤師会の研修実務担当者との情報共有を図り研修会の開催を推進するとともに、研修内容の充実等を図ることを目的に開催した。

② 生涯学習認定制度の普及促進

ア 各研修会で認定制度の周知等を実施した。

- ・研修会場での生涯学習認定制度の説明
- ・申請手順書の配付

イ 会誌「薬壺」に情報を掲載するとともに、認定薬剤師の生の声を届けるべく連載企画「認定薬剤師・この人に聞く」にて認定制度の啓発を行った。

ウ 本会ホームページに認定制度に関する情報を掲載した。

エ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営するサイト「認定薬剤師.com」に情報を掲載した。

オ 連携研修事業と統合した共催研修の新規申請団体を対象に研修会視察を行った。

カ 認定薬剤師の希望者へ発行する ID カードおよびネックストラップを作製した。

③ 学習環境の整備

日本薬剤師会が作成した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき各種研修などを企画、開催した。

ア 認定研修会の開催

「令和5年度認定研修会 受講者数一覧」(P52 参照)

	A 認定型※1	B 依頼型※2	C 共催型※3	計
集 合	9	3	18	30
web	4	4	21	29
ハイブリッド	2	0	4	6
計	15	7	43	65

※1 「A 認定型」 本会各委員会が企画・運営する研修

※2 「B 依頼型」 本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3 「C 共催型」 地域薬剤師会または実施団体と企業等が計画・実施する研修会

イ 受講証明書の発行開始

研修シールと受講証明書一体形のシール（A4判）を発行してきたが、認定薬剤師申請の電子化が進む中で、シール形式での単位発行を見直し、複写防止の専用用紙での単位発行を開始した。

ウ 共催研修事業（C共催型）の視察

（第32回漢方EBM研究会（漢方EBM研究会、神奈川県病院薬剤師会））

日 時：令和5年6月29日（木）

（第1回都筑区薬剤師会研修会（都筑区））

日 時：令和5年6月29日（木）

（メンタルヘルス・ファーストエイド研修会（宮前区））

日 時：令和5年9月2日（土）

（瀬谷区薬剤師会研修会（瀬谷区））

日 時：令和5年10月17日（火）

（第9回神奈川吸入療法ステップアップセミナー初級編（吸入療法のステップアップをめざす会））

日 時：令和6年2月10日（土）

④ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的として、神奈川県内の地域・職域薬剤師会等が実施する研修に講師を派遣するなど支援している。

今年度は、次の研修会に本会が派遣講師を選定し地域薬剤師会との共催研修会を企画した。

ア “食べてうつぬけ”を実践！薬剤師だからできる栄養指導（基礎編）研修会

日 時：令和5年7月23日（日）14:00～15:50

会 場：web 開催

共 催：横浜薬科大学

内 容：“食べてうつぬけ”を実践！薬剤師だからできる栄養指導

講師 奥平智之氏（山口病院（埼玉県川越市）副院長/

日本栄養精神医学研究会会長）

イ 带状疱疹の知識を深める研修会

日 時：令和5年11月26日（日）14:00～15:30

会 場：web 開催

共 催：小田原薬剤師会、昭和薬科大学

内 容：・带状疱疹の基礎（症状、原因）

・新型コロナウイルス感染との関係

・薬物治療の実際 ・予防接種、予防について

・薬剤師に期待すること

講師 久保田智樹氏（勝田台クリニック院長）

ウ EBM研修会（基礎編）

日 時：令和5年12月10日（日）13:00～16:30

会 場：web 開催

共 催：昭和薬科大学

内 容：EBM の基礎を知って薬剤師の質を上げよう。ー製薬会社の医療用医薬
品情報概要(製品説明パンフレット)の見方・使い方ー

講師 南郷栄秀氏（聖母病院総合診療科）

五十嵐俊氏（横浜市立市民病院感染管理室）

エ 入浴を科学する！入浴と睡眠の関係を深く学ぶ研修会

日 時：令和6年1月21日（日）13:00～14:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

共 催：相模原市薬剤師会

内 容：・入浴と睡眠の基礎知識

・入浴と睡眠が体へもたらす効果

・薬剤師へ期待すること

講師 石川泰弘氏（日本薬科大学医療ビジネス薬科学科
スポーツ薬学コース特任教授）

⑤ 生涯学習認定制度の広報活動

神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度の紹介動画を作成し、ホームページへ掲載した。

⑥ 学習活動への支援

ア 本会企画研修会

（第1回薬剤師倫理研修会）

日 時：令和5年6月4日（日）13:30～16:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ

講師 高橋洋一氏（横浜薬科大学客員教授）

・(SGD) ケーススタディー

（第2回薬剤師倫理研修会）

日 時：令和5年8月20日（日）13:30～16:45

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ

～近年、話題になっている薬局における処方箋医薬品の販売について～

講師 高橋洋一氏（横浜薬科大学客員教授）

・(SGD) ケーススタディー

(第3回薬剤師倫理研修会)

日 時：令和5年11月19日（日）13:30～16:45

会 場：web 開催

内 容：薬剤師に必要な倫理を学ぶ

～困難な「今」こそ pharmaceutical care を極めよう！～

講師 鈴木順子氏（北里大学名誉教授）

・(SGD) ケーススタディー

(第1回研究倫理研修会)

日 時：令和6年1月29日（月）19:00～20:45

会 場：web 開催

内 容：薬剤師に求められる研究倫理や倫理的配慮について学ぶ

講師 上村直樹氏（東京理科大学薬学部嘱託教授）

⑦ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～

日 時：令和5年12月9日（土）15:00～17:10

会 場：web 開催

内 容：

・薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について

神奈川県保健医療計画の改定内容について

講師 諸角浩利氏（神奈川県健康医療局生活衛生部薬務課長）

問題のある保険請求について

講師 藤本直樹氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

・地域で薬局・薬剤師に求められる機能と必要とされる倫理観

薬剤師行動規範と医薬品提供体制

講師 豊見敦氏（日本薬剤師会常務理事）

令和5年度認定研修会 受講者数一覧（令和5年4月～令和6年3月）

会場A：神奈川県総合薬事保健センター
 会場B：加瀬会議室鶴見駅前ホール
 会場C：相模原市民会館
 会場D：川崎市医師会館
 会場E：鷺沼町会鷺沼會館
 会場F：瀬谷区民文化センター
 会場G：保土ヶ谷区医師会館
 会場H：海老名市医療センター

会場I：相模女子大学グリーンホール
 会場J：茅ヶ崎市地域医療センター
 会場K：横須賀市生涯学習センター
 会場L：川東タウンセンター
 会場M：旭区民文化センター
 会場N：てくのかわさき
 会場O：あーすぶらざ
 会場P：済生会横浜市東部病院

No.	研修会名	日程	曜日	会場	共催	総数
1	保険薬剤師のための保険研修会（実践編）	4月9日	日	会場A	-	47
2	公衆衛生研修会（学校環境衛生編）	4月23日	日	会場A・web併用	-	64
3	第20回かながわ薬剤師学術大会	5月14日	日	会場A	神奈川県病院薬剤師会	230
4	セルフメディケーション研修会～総論編～ 「くすりと健康相談薬局」相談力向上研修会	5月28日	日	会場A	-	43
5	第1回薬剤師倫理研修会	6月4日	日	会場A	-	36
6	第1回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	6月11日	日	会場B・web併用	鶴見薬剤師会	38
7	第32回漢方EBM研究会	6月29日	木	AP横浜	神奈川県病院薬剤師会、 漢方EBM研究会	24
8	第1回都筑区薬剤師会研修会	6月29日	木	web開催	都筑区薬剤師会	51
9	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	7月6日	木	web開催	神奈川区薬剤師会	30
10	第1回海老名市薬剤師会学術研修会	7月12日	水	web開催	海老名市薬剤師会	24
11	“食べてうつぬけ”を実践！ 薬剤師だからできる栄養指導（基礎編）研修会	7月23日	日	web開催	横浜薬科大学	59
12	第2回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	7月31日	月	web開催	鶴見薬剤師会	31
13	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	8月6日	日	会場C	-	30
14	第9回川崎市薬剤師会症候学研修会	8月17日	木	会場D	川崎市薬剤師会	31
15	第2回薬剤師倫理研修会	8月20日	日	会場A	-	28
16	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	8月31日	木	web開催	神奈川区薬剤師会、 鶴見薬剤師会	21
17	メンタルヘルス・ファーストエイド研修会	9月2日	土	会場E	宮前区薬剤師会	13
18	保険調剤の正しい理解のための研修会	9月3日	日	web開催	-	84
19	セルフメディケーション研修会～事例編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ講座	9月10日	日	会場A	-	57
20	第1回緑区薬剤師会臨床学術研修会	9月12日	火	web開催	緑区薬剤師会	51
21	認知症対応力向上研修会	9月24日	日	会場A	-	48
22	第10回川崎市薬剤師会症候学研修会	9月28日	木	会場D	川崎市薬剤師会	32
23	公衆衛生研修会（手指衛生編）	10月1日	日	会場A	-	20
24	薬剤師向け多文化対応力向上研修会	10月5日	木	web開催	かながわ国際交流財団	44
25	褥瘡治療薬サミットinかながわ2023	10月15日	日	会場A	神奈川県病院薬剤師会	48
26	瀬谷区薬剤師会研修会	10月17日	火	会場F	瀬谷区薬剤師会	18
27	公衆衛生研修会（アンチドーピング編）	11月5日	日	会場A・web併用	-	58
28	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	11月9日	木	web開催	神奈川区薬剤師会、 済生会神奈川県病院	30
29	県下統一調剤事故防止研修会（保土ヶ谷）	11月10日	金	会場G	保土ヶ谷区薬剤師会	23
30	第2回都筑区薬剤師会研修会	11月14日	火	web開催	都筑区薬剤師会	51
31	県下統一調剤事故防止研修会（海老名）	11月15日	水	会場H	海老名市薬剤師会	29
32	調剤事故防止研修会（相模原）	11月16日	木	会場I	相模原市薬剤師会	73

No.	研修会名	日程	曜日	会場	共催	総数
33	休日夜間急患調剤薬局事業に関する研修会	11月16日	木	会場I	相模原市薬剤師会	74
34	第14回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	11月17日	金	web開催	鶴見薬剤師会、 済生会横浜市東部病院	24
35	県下統一調剤事故防止研修会（鶴見）	11月18日	土	会場B・web併用	鶴見薬剤師会	50
36	第3回薬剤師倫理研修会	11月19日	日	web開催	-	47
37	带状疱疹の知識を深める研修会	11月26日	日	web開催	小田原薬剤師会 昭和薬科大学	83
38	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	11月29日	水	web開催	鎌倉市薬剤師会	78
39	神奈川区・鶴見区薬剤師合同研修会	11月30日	木	web開催	神奈川区薬剤師会、 鶴見薬剤師会	27
40	在宅医療研修会	12月3日	日	会場A	-	56
41	県下統一調剤事故防止研修会（茅ヶ崎寒川）	12月7日	木	会場J	茅ヶ崎寒川薬剤師会	56
42	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	12月9日	土	web開催	-	87
43	E B M研修会（基礎編）	12月10日	日	web開催	昭和薬科大学	11
44	鎌倉市薬剤師会研修会	12月14日	木	web開催	鎌倉市薬剤師会	49
45	県下統一調剤事故防止研修会（伊勢原・秦野市）	12月15日	金	web開催	伊勢原市薬剤師会 秦野市薬剤師会	66
46	第15回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	12月15日	金	web開催	鶴見薬剤師会、 済生会横浜市東部病院	8
47	第11回川崎市薬剤師会症候学研修会	12月19日	火	会場D	川崎市薬剤師会	44
48	神奈川県統一調剤事故防止研修会（横須賀）	12月19日	火	会場K	横須賀市薬剤師会	33
49	県下統一調剤事故防止研修会（神奈川）	1月17日	水	web開催	神奈川区薬剤師会	29
50	入浴を科学する！ 入浴と睡眠の関係を深く学ぶ研修会	1月21日	日	会場A	相模原市薬剤師会	30
51	湘南東地域薬剤師会協議会研修会	1月25日	木	web開催	湘南東地域薬剤師会協議会	103
52	小田原薬剤師会学術研修会 セルフメディケー ション研修会	1月28日	日	会場L	小田原薬剤師会	16
53	第1回研究倫理研修会	1月29日	月	web開催	-	62
54	アンチ・ドーピング研修会（相模原）	1月31日	水	web開催	相模原市薬剤師会	56
55	鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会 多職種連携 講演会	1月31日	水	会場P・web併用	鶴見薬剤師会、鶴見区医師会 神奈川区薬剤師会	75
56	県下統一調剤事故防止研修会（旭）	2月6日	火	会場M	旭区薬剤師会	29
57	第12回川崎市薬剤師会症候学研修会	2月6日	火	会場N	川崎市薬剤師会	32
58	栄区・県下統一調剤事故防止研修会	2月8日	木	会場O	栄区薬剤師会、 港南区薬剤師会	28
59	茅ヶ崎寒川薬剤師会研修会	2月8日	木	会場J	茅ヶ崎寒川薬剤師会	29
60	第9回神奈川吸入療法ステップアップセミナー初 級編	2月10日	土	web開催	吸入療法のステップアップを めざす会	14
61	第16回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	2月16日	金	web開催	鶴見薬剤師会、 済生会横浜市東部病院	29
62	瀬谷区薬剤師会研修会	2月21日	水	会場F	瀬谷区薬剤師会	17
63	第3回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	2月22日	木	web開催	鶴見薬剤師会、 神奈川区薬剤師会	20
64	第4回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	2月25日	日	会場B・web併用	鶴見薬剤師会、 神奈川区薬剤師会	27
65	ブレアボイド合同研修会	3月7日	木	web開催	神奈川県病院薬剤師会	72
合 計						2,927

(2) リスクマネジメント等事業

① リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少などのため、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を開催し、情報交換等を行った。

ア 第1回リスクマネジャー会議

日 時：令和5年8月10日（木）19:30～20:30

会 場：web 開催

内 容：・調剤事故防止・発生時対応マニュアル第3版について

講師 白子順一氏（リスクマネジメント委員会委員）

・リスクマネジャーの役割について

講師 篠田豪氏（リスクマネジメント委員会副委員長）

・情報交換会

イ 第2回リスクマネジャー会議

日 時：令和5年9月14日（木）19:30～20:40

会 場：web 開催

内 容：・市販薬の乱用とオーバードーズ ―法中毒学の見地から―

講師 篠塚達雄氏（横浜薬科大学顧問）

・薬局プレアボイド報告キャンペーンについて

講師 古平圭吾氏（リスクマネジメント委員会委員）

・県下統一調剤事故防止研修会の開催について

・高齢者転倒防止等の啓発動画の周知について

講師 三堀賢太郎氏（リスクマネジメント委員会委員長）

② 2023 県下統一調剤事故防止研修会の開催

開催団体：地域薬剤師会 27 団体

開催時期：令和5年11月～令和6年3月

内 容：・市販薬の乱用とオーバードーズ ―法中毒学の見地から―

・調剤事故防止・発生時対応マニュアル第3版について

・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

③ 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬剤師は、薬物治療において患者の安全を守るための重要な立場にあり、薬局プレアボイド事業は、その業務の「見える化」を図るために極めて有効な事業と考えて、事例収集を実施した。

（第9回薬局プレアボイド報告キャンペーン）

期 間：令和5年10月1日～10月31日

④ プレアボイド合同研修会の開催

日 時：令和6年3月7日（木）19:00～21:00

会 場：web 開催

共 催：神奈川県病院薬剤師会

内 容：・2022 年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

・2022 年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

⑤ 調剤事故防止検討会の開催

日 時：令和6年2月8日（木）18:00～19:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：実際の調剤事故事例解説

⑥ プレアボイドweb 報告システムの運用

薬局プレアボイド報告の簡略化、収集事例の分析解析を目的に Salesforce を活用した web 報告システムを構築し、令和3年4月より運用を開始している。

報告件数：547 件



⑦ プレアボイド報告の分析・評価

大学と共同で薬局プレアボイド報告事例を分析・評価し、論文を作成する。研究方針に基づきプレアボイド報告の蓄積データの解析・評価を行うため、次年度に継続して検討することとした。

（3）広報事業

① 広報推進事業

薬局・薬剤師の機能・職能を県民に広くPRするために、神奈川県薬剤師会の Facebook と Instagram に定期的に投稿を行うとともに、地域薬剤師会からの投稿も受け付けた。（別表1）

また、第20回かながわ薬剤師学術大会県民公開講座において来場者用の SNS 発信ブースを設置し、トライアルメンバーや横浜薬科大学の学生の協力を得て、県民に向けて啓発活動を行った。

さらに、神奈川県薬剤師会のキャラクターマーケティングをより進めていくために、各種イベント会場等で神奈川県薬剤師会をアピールする「神奈薬ほう介」着ぐるみを作成し、令和6年度より運用を開始する準備を行った。（「神奈薬ほう介」着ぐるみ写真参照）



SNS 発信ブース

（第20回かながわ薬剤師学術大会県民公開講座）

別表 1

令和5年度ソーシャルメディア投稿結果

投稿日	投稿内容	区分	投稿者	Facebook	Instagram
4/18	保険薬剤師のための保険研修会（実践編）	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
4/26	5/13県民公開講座 健康測定会案内	県薬	地域保健委員会	○	○
5/10	5/13県民公開講座 健康測定会案内（最終）	県薬	地域保健委員会	○	○
5/12	健活！さがみはら健康フェスタ2022	地域	相模原市薬剤師会	○	－
5/13	県民向けSNSブース（当日配信）	県薬	広報委員会	○	○
5/25	【広報定期投稿】安心して薬を飲むために	県薬	広報委員会	○	○
5/29	5/13県民向けSNSブース報告	県薬	広報委員会	○	○
6/8	モバイルファーマシー展示（ハマフェスY164）	地域	横浜市薬剤師会	○	○
6/8	セルフメディケーション研修会～総論編～	県薬	地域保健委員会	○	○
6/9	献血推進のための活動案内	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
6/15	【広報定期投稿】「薬」について	県薬	広報委員会	○	○
6/19	健康サポート薬局研修会開催	地域	横須賀市薬剤師会・横浜市薬剤師会	○	○
6/21	薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ 正しい政策がないならどうすべきか	県薬	倫理研修委員会	○	○
6/27	プレスボ小田原で献血活動！	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
7/13	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
7/20	Withコロナ時代の運動のすすめ	地域	横浜市薬剤師会	○	○
8/23	学校薬剤師って皆さんご存じですか？	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
9/1	健康サポート薬局をご存じですか？	県薬	地域保健委員会	○	○
9/4	【広報定期投稿】神奈川県薬剤師会ホームページリニューアル	県薬	広報委員会	○	○
9/19	学校法人北里研究所 北里大学病院 敷地内薬局整備運営事業への要望書の提出について	県薬	広報委員会	○	○
9/20	啓発動画のお知らせ	県薬	リスクマネジメント委員会	○	○
9/22	中学生のための初級薬学講座2023	地域	相模原市薬剤師会	○	○
9/27	セルフメディケーション研修会～事例編～	県薬	地域保健委員会	○	○
9/29	【広報定期投稿】新型コロナとインフルエンザが同時流行！	県薬	広報委員会	○	○
10/10	【広報投稿】地域の方々へ向けたYouTube動画撮影会に体験しました！！	県薬	広報委員会	○	○
10/12	認知症対応力向上研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
10/23	公衆衛生研修会（手指衛生編）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
11/20	くすりと健康すこやかフェア	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
11/29	褥瘡治療薬サミットinかながわ2023	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
12/4	【広報定期投稿】処方箋の使用期間	県薬	広報委員会	○	○
12/13	SC相模原ホームゲームでのアンチ・ドーピングブース出展	地域	相模原市薬剤師会	○	○
12/18	【広報定期投稿】薬局の役割 疑義照会編	県薬	広報委員会	○	○
1/16	モバイルファーマシーの派遣（能登半島地震情報）	県薬	広報委員会	○	○
1/18	公衆衛生研修会（アンチドーピング編）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/19	【広報定期投稿】咳止め薬不足の深刻な現状	県薬	広報委員会	○	○
2/21	献血協力をお願い（本厚木駅北口広場）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
3/25	さがまちカレッジ 薬・健康市民講座	地域	相模原市薬剤師会	○	○
3/28	サプリメントについて、ざっくりと解説	県薬	広報委員会	○	○
3/29	駒岡地域ケアプラザ 第14回丘の上春まつりにて健康測定を実施しました。	地域	鶴見薬剤師会	○	○

県薬：31件//地域：8件

39

38

「神奈薬ほう介」 着ぐるみ



② 会誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を促すとともに薬学・薬業の進歩発展に寄与するため、会誌「薬壺」を発行し、薬学・医学領域に関する情報や医薬品情報、神奈川県の変向、薬業界の話題などを掲載した。

- ・発行：6回（隔月奇数月）各4,370部
- ・配送先：会員、各都道府県薬剤師会、保健所、薬科大学、新聞社他
- ・掲載内容等：

発行月号	頁数	薬壺編集委員会企画記事
5・6	75	① お薦め薬害関連書籍 ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第4回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第5回）
7・8	51	① スポットライト ～相模原市薬剤師会「さがまちカレッジ講座」～ ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第5回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第6回） ④ 新薬紹介
9・10	63	① 第20回かながわ薬剤師学術大会報告 ② 9月17日は何の日？ ③ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第6回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第7回）
11・12	61	① 第20回かながわ薬剤師学術大会優秀賞紹介 ② 艸楽会金沢行き紀行 ③ ひとは人生の終末期をどう生きているのか、われわれはその人をどう支えていくのか（第1回） ④ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第7回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第8回）

発行月号	頁数	薬壺編集委員会企画記事
1・2	51	① スポットライト ～川崎市幸区薬剤師会「ネットワーク・これ幸全体会」～ ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第8回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第9回） ④ 新薬紹介
3・4	51	① 能登半島地震被災地支援について ② 薬害関連資料収集検討事業について ③ ひととは人生の終末期をどう生きているのか、われわれはその人をどう支えていくのか（第2回） ④ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第9回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第10回）

（取材活動・掲載）

ア 地域薬剤師会

他の地域に広めたい活動や地域の強み等、地域薬剤師会の特色ある活動について取材を行った。

- ・相模原市薬剤師会 第1回さがまちカレッジ

令和5年3月5日（日）〈7・8月号掲載〉

- ・川崎市幸区薬剤師会 第2回「ネットワーク・これ幸全体会」

令和5年3月28日（火）〈2024年1・2月号掲載〉

イ 第20回かながわ薬剤師学術大会5月13日（土）、14日（日）

〈大会報告：9・10月号掲載〉

〈優秀賞紹介：11・12月号掲載〉

（読者アンケートの実施）

読者からの意見を誌面作りに活かすため、薬壺7・8月号から読者アンケートを実施している。

③ ホームページ運営事業

新ホームページの構築に係る委託業者とのミーティング、経過報告などを実施し、令和5年7月11日にホームページをリニューアルオープンした。

新ホームページはスマートフォンでの対応が可能となり、また、会員ページを充実させるため、情報センターQ&Aコーナーの設置や健康測定機器の貸出申込がホームページ上で可能となった。



神奈川県薬剤師会 ホームページトップ画像

④ メールマガジン発信事業

薬剤師資格証関連、新型コロナウイルス感染症関連情報等、70 件の情報を配信した。
主な内容は次のとおり。

- ・ 04 月 03 日号 薬剤師資格証（HPKI）発行費用への補助金について
- ・ 04 月 17 日号 令和 4 年度（令和 5 年度への繰越分）薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業の受付期間変更のおしらせ
- ・ 05 月 24 日号 新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬の取扱いについて（所有権の移転および再譲渡）
- ・ 06 月 01 日号 神奈川県薬剤師会 研修会のご案内
- ・ 07 月 06 日号 公益社団法人神奈川県薬剤師会 ホームページリニューアルのご案内
- ・ 09 月 01 日号 公益社団法人神奈川県薬剤師会公式 YouTube チャンネルについて
- ・ 11 月 22 日号 緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業について
- ・ 01 月 16 日号 令和 6 年度能登半島地震災害支援活動へのご協力について
- ・ 01 月 30 日号 【デジタル庁】デジタル推進委員の任命について
- ・ 03 月 14 日号 新型コロナウイルス感染症の令和 6 年 4 月以降の医療提供体制及び公費支援等について
- ・ 03 月 15 日号 医療用抗原キットの販売について

（４）会員に向けた各種支援

- ① 薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇物登録、高度管理医療機器販売業等の更新に係る各種書類を会員に送付し、手続き方法を案内した。
（令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月、490 店舗・754 件）
- ② 日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険）、アンチ・ドーピング活動保険の加入希望者にパンフレットを送付した。
- ③ 薬剤師賠償責任保険の加入手続きに伴う日本薬剤師会からの会員登録確認に対応した。
- ④ 麻薬取扱者免許の継続申請及び令和 5 年麻薬年間届を所管保健所へ提出するよう該当者へ申請書類等を送付した。1,858 件（令和 5 年 9 月）
- ⑤ 令和 4 年度に実施した「神奈川県薬剤師会に関するアンケート」結果から、神奈川県薬剤師会の会員メリットが認知されていないことが判明したため、わかりやすい会員特典案内のリーフレット「会員特典ご紹介」を作成した。（再掲）（P 47 参照）

IV 収益事業

1 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会他 9 団体（4 階）、ヴェオリア・ジェネッツ㈱（1・5 階）、㈱矢野建築設計事務所（3 階 305 号室）に引き続き事務室を賃貸した。

また、会議室の利用状況は、4～3 月の合計 958 件であり、前年度 842 件と比べ増加した。

- ・外部会議室利用状況 458 件(前年対比 103%)
- ・内部会議室利用状況 500 件(前年対比 125%)

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙等の販売を行った。

- ・薬事関係図書の斡旋販売：52 件（881 冊）斡旋販売手数料 195,972 円
- ・用紙等販売：205 件 629,331 円

(3) 神奈川県総合薬事保健センター大規模修繕について

神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化に向けた取組

① 設計業者の選定

令和 4 年度に実施した事前調査に基づき、本格的な調査・点検作業から計画策定・技術的検討・設計業務を行う業者の選定を行い、令和 5 年度の 4 月にナイトウ総合計画事務所と契約を締結した。

② 設計業者・設計監理業者による設計・積算

令和 5 年 9 月に設計図書を作成し、それに基づいて積算を行い、工事費用を算出した。

③ 見積

設計図書と積算を元に、見積を作成し、4～6 社に依頼して令和 5 年 11 月に見積合わせを行い、予算と内容に納得できる工事業者を選定した。令和 5 年 12 月の見積合わせの結果、株式会社トライアングルを工事業者（候補）とした。

④ 設計監理業者、工事業者（候補）と協議、調整

設計監理業者、工事業者（候補）と協議・調整を行い、工事の内容や価格のすり合わせを行った。

⑤ 発注・契約

発注・受注企業間で工事内容や価格が確認され、令和 6 年 3 月に工事業者（トライアングル株式会社）と基本合意書を締結し、令和 6 年度の大規模修繕工事契約を締結した。

その他

1. 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼に基づき、一般社団法人日本医療薬学会の「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」について、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）の調整を図るマッチング業務を受託し実施した。

① 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

委 員 橋本真也、小林弘忠、小松敏彰

開催方法 書面会議

② 令和5年度マッチング結果

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	1 名	0 名	1 名
2. 受入状況	2 施設 3 名	1 施設 2 名	1 施設 1 名
3. マッチング成立者	1 名	0 名	1 名
4. マッチング不成立者	0 名	0 名	0 名

令和 5 年度
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

令和 2 年 1 月に国内で初めての患者が確認されて以来、流行が続いている新型コロナウイルス感染症については、依然として確実な収束が見通せない状況ではありますが、一方で人々は徐々にこうした環境に適応し、web の活用が一気に進むなど新たな社会生活スタイルが確立されつつあります。

神奈川県薬剤師会では、これまでの経験を活かしながらこうした社会の変化に柔軟に対応し、新たな手法を取り入れながら、公益社団法人として公衆衛生の向上など本会に求められている使命を積極的に果たすために更なる成果を上げる必要があります。

また、近年は数多くの法令改正、規制改革が実施され、我々を取り巻く状況は大きく変化しています。

このため、本会では時代の要請に合った事業を展開し、将来にわたって薬剤師・薬局がさらに存在意義を高めていくことができるよう、会員をサポートしていくことが必要です。

本会の 2 大事業である「くすりと健康相談薬局制度」と「生涯学習認定制度」を軸として、これらの着実な事業展開を図るとともに、令和元年の薬機法改正による「住み慣れた地域で患者が安心して医薬品を使うことができるようにするための薬剤師・薬局のあり方の見直し」に盛り込まれた理念の実現と諸制度への円滑な対応に資する取組を積極的に進めなければなりません。

一方で、少子高齢化の進展により神奈川県も人口減少局面に転じる中で上記のような取組をより一層強化していくためには、新規会員の獲得に引き続き務めるとともに、限られた財源の中で様々な工夫をしながら委員会活動等の充実を図り、本会の活動基盤を強固なものとしなければなりません。

こうした基本スタンスに立って、令和 5 年度の事業の推進にあたっては、次に掲げる取組を重点的に推進していくこととします。

- 1 神奈川県病院薬剤師会との共催による「かながわ薬剤師学術大会」については、令和 5 年 5 月に開催するとともに、今後を見据えて効率性や効果の面からそのあり方を議論し、会員にとってより有益なものとなるよう見直しを行います。
- 2 「くすりと健康相談薬局」については、地域薬剤師会の協力を得ながら認定数の拡大を図り、当初設定した目標 500 薬局のうち、令和 5 年度は 300 薬局を達成することを目指すとともに、かかりつけ薬剤師・薬局の機能をサポートしていくための施策の展開にも取り組みます。
- 3 薬剤師の質の向上を図るため「生涯学習認定制度」を引き続き推進し、令和 5 年度はより受講しやすい研修環境を整え、認定薬剤師数の増を目指します。

- 4 神奈川県等と共催で薬物乱用防止の街頭キャンペーンを実施するとともに、学校薬剤師が中心となって県下の児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催し、青少年の間に増加しつつある薬物乱用の撲滅を図るための啓発事業等を積極的に行います。
- 5 学術研究を推進し、薬剤師のエビデンスに基づく研究能力の向上を図るとともに、地域社会が直面する保健・医療・福祉等の課題解決に結びつく具体的研究成果を示すことで、県民、行政、関連団体に対して薬剤師のプレゼンスを高めます。
- 6 県下一斉相談週間、くすりと健康すこやかフェア等、県下の薬剤師・薬局が参加可能な県民の健康増進及び福祉の向上に資する施策を展開します。
- 7 本会及び薬剤師・薬局の活動について、会員への周知を図ることはもとより、広く県民の理解が得られるよう、令和5年度にホームページをリニューアルするとともに、会員に重要情報を速やかに提供できるようメールマガジンの登録を引き続き促進します。
- 8 新規会員の確保を図るため、将来本会の中核を担うことになる若手（薬学生等）をターゲットとして入会促進活動を試行するとともに、会員サービスの充実を図る施策を検討します。
- 9 将来にわたって本会が公益社団法人としての使命を果たしていくことができるよう、財務基盤の安定強化を図るために、研修会の参加費等について適正な水準を検討するとともに、会費を含めその徴収方法についても検討を行います。
- 10 本会の活動基盤である神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、大規模修繕に向けた取組を開始します。

令和5年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

I 公益事業

I-1

薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

I-2

児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

I-3

医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

I-4

医療安全に関する
事業

1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

I-5

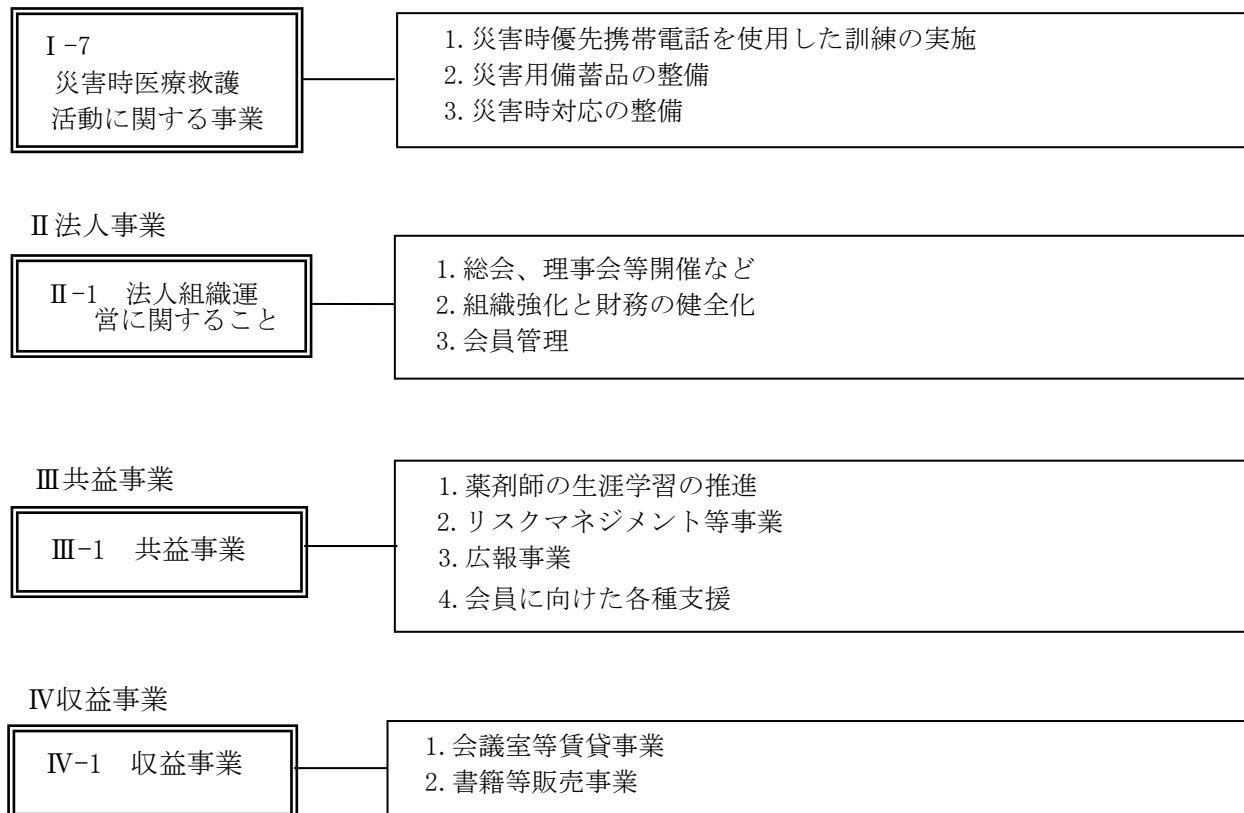
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

I-6

地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート機能向上に関する事業の推進



神奈川県薬剤師会各種委員会等委員名簿

(敬称略・エリア順)

委員会等名称	担当副会長	担当専務・ 常務理事	担当理事	委 員	担当課
組織会員委員会	後藤 知良 長津 雅則	平井 和友 塚本 久美	泉 紀久恵 八畝 広幸 藤本 直樹	関水 康成 菅野 宏一 荒澤 実 馬瀬 大介 ◎市川 浩 ○金林 茂 福岡 真	管理課
広報委員会	橋本 真也	平井 和友 塚本 久美	伊藤 啓 大岡 石井 泰彦	鈴木 伸悟 ◎澤田 寛之 ○中里 裕之 吉川 幸介 藤田 大輔 吉川 武寿 持田 雄也	管理課
薬壺編集委員会	橋本 真也	塚本 久美	伊藤 啓 森井 広樹 大岡 元	中尾 圭佑 吉川 武寿 田村 理 ○小川 智福 小林奈津子 斯波 晃介 菅野 浩 ◎関根 飯田 澄江 京子	管理課
生涯学習委員会	橋本 真也	久保田充明	泉 紀久恵 加藤 真介 福嶋 仁	木村 太二 門垣 雪江 小泉 直也 熊谷圭二郎 三澤 鈴木 鈴木 杉崎 喜彦 良雄 薫 薫 阿部 隆介 ◎柿沼 貞之 吉山 友二 ○友田 健 飯塚 徹 山村 重雄	事業課
医療・介護保険委員会	長津 雅則	佐藤 克哉 小林 弘忠	阿部 正隆 夏目 善文 福嶋 仁 藤本 直樹	渡辺 美穂 林 成昭 露木 昭史 吉田 匡志 中原 茂 村山 慶 菅沼 賢吾 漆畑 俊哉 ○梶谷 浩 今井 良紀 ○亀山 俊 江島 慎太郎	事業課
公衆衛生・学業委員会	後藤 知良	平井 和友 小林 弘忠	唐澤 淳子 八畝 広幸 藤本 直樹 石井 泰彦	永田 浩美 ◎和田 歩 森田 育子 滝澤 聖一 ○濱地 美 市川 聡 今村 裕樹 福田 学 諸富 優作 青木 曉美 関根 裕樹 藤原正一郎 崇 紀恵 神原 秀樹 芝坂 大 ○大澤 佳 神原 小出 洋子 大輔 三浦 奈子 一規 彰宏	事業課
地域保健委員会	長津 雅則	佐藤 克哉 大島 崇弘	唐澤 淳子 阿部 正隆 夏目 善文 石井 泰彦	丸岡 沙織 宇井 敬 手嶋 敬 字 敬 ○鷹山 田中 澤田 弘之 大嗣 毅 ○林 鈴 鈴木 直子 尾形真美子 ○堀川 市川 壽代 和子	事業課
リスクマネジメント委員会	後藤 知良	久保田充明	伊藤 啓 森井 広樹 石井 泰彦	市川 順子 大貫 ミチ 小川 亮子 白子 順一 ○篠田 豪 ◎三堀賢太郎 古平 圭 新田 淳史 芦塚 拓也 星野 鈴木 鈴木 原 高志 康生 和夫	事業課
倫理研修委員会	橋本 真也	大島 崇弘	竹内 尚子 菅野 君子 八畝 広幸 深澤 仁	◎斉藤 美月 山田 裕介 武田亜希子 小橋 紀子 ○安藤 典幸 高村 優子	事業課
学術大会実行委員会	後藤 知良	平井 和友 久保田充明	唐澤 淳子 加藤 真介 深澤 仁	野村 清司 ○齋藤 邦夫 勢登 祐志 ◎中村 正樹 今村 裕樹	事業課
実務実習委員会	橋本 真也 長津 雅則	久保田充明 大島 崇弘	竹内 尚子 阿部 正隆 夏目 善文 加藤 真介	○須田 哲史 河野 和宏 ◎片山 周也 山下 吉男 加藤 孝平 岩井 俊秀 上田 知弘 難波 昭雄 石川 弓子 芦刈 典子 駒井 元彦 婦川 貴博 矢野 寺 寺嶋 廣原 裕一 正宜 智子 一宏	事業課
災害対策検討委員会	後藤 知良 長津 雅則	平井 和友 小林 弘忠	○泉 紀久恵 森井 広樹 深澤 仁	田村 英樹 ◎日向 彰	事業課
くすりと健康相談薬局制度運営協議会	後藤 知良 橋本 真也 長津 雅則	平井 和友 全常務理事	-	益山 光一 今井 澄江 ◎篠塚 達雄	事業課
代議員選挙管理委員会	-	平井 和友	菅野 君子	木村久美子 岡野 克樹 原 延正 鈴木 康久 岩井 俊秀 渡邊 浩一 越田 良仁 小林きぬ子 狭間 純 山田 修 三 太郎	管理課
総会議事運営委員会	後藤 知良	平井 和友	八畝 広幸	笹谷 康子 澤田 弘之 稲葉 学 ○松原 幸三 橋 津義 石井 豊 星野 高志 ◎鈴木 大介 定村 洋士 大貫 ミチ 高橋 善彦 中山 啓一	管理課
役員選挙管理委員会	-	平井 和友	菅野 君子	石川 弓子 岡野 克樹 原 延正 鈴木 康久 岩井 俊秀 渡邊 浩一 越田 良仁 小林きぬ子 川口 健次 山田 修 今井 和成	管理課
第2次公益法人運営特別会費検討委員会	後藤 知良	平井 和友 大島 崇弘 小林 弘忠	大岡 元	高木 健司 ◎山下 耕司 伊藤 一 鈴木 馬瀬 馬瀬 石井 康久 大介 大 豊 嶋崎 眞義 ○臼井 得雄 鈴木 神原 和巳 章喜	管理課
新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG	後藤 知良	久保田充明 塚本 久美	大岡 元 石井 泰彦	玉田 慎二 秋葉 保次	事業課 管理課
倫理審査会	-	-	-	竹内 尚子 武藤 一久 清川 秀人 菅野 君子 大澤 正俊 ◎上村 直樹 高橋 省三 今井 小松 澄江 順子	事業課

令和6年3月31日現在

令和5年度神奈川県薬剤師会組織図

